

泉大津沖埋立処分場等に係る
環境監視調査結果報告書
(令和7年2月分)

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I	泉大津沖埋立処分場及び泉大津基地	1
1	環境監視結果の概要	1
1.1	処分場の受入量(表1-1)	1
	環境監視調査地点位置図(図1-1)	2
1.2	環境監視の実施状況	3
1.3	環境監視の結果	5
	[1] 海域調査	5
	(1) 水質	5
	①日調査	5
	②週調査	5
	③月調査	5
	④年4回調査	6
	⑤年2回調査	8
	(2) 底質	9
	①年2回調査	9
	(3) 海生生物	10
	①年4回調査	10
	[2] 陸域調査	11
	(1) 交通量	11
	(2) 大気質	11
	(3) 発生ガス	12
2	環境監視結果	13
	海域調査結果	13
	放流水の測定結果[日調査](表1-2)	14
	放流水、内水の測定結果[週調査](表1-3)	16
	基本監視点、内水、放流水及び補助監視点の測定結果[月調査・年4回](表1-4)	17
	一般項目及び生活環境項目	17
	特殊項目	18
	健康項目	19

ダイオキシン類	20
底質（海域）測定結果（表1-5）	21
植物プランクトン調査結果（表1-6）	22
動物プランクトン調査結果（表1-7）	23
魚卵調査結果（表1-8）	24
稚仔魚調査結果（表1-9）	24
底生生物調査結果（表1-10）	25
付着生物調査結果（表1-11，図1-2）	26
漁業生物調査結果（表1-12）	30
陸域調査結果	31
監視結果総括（交通量、大気質）（表1-13）	33
交通量調査結果（表1-14）	34
大気質調査結果（表1-15～21，図1-3～7）	35
発生ガス調査結果（表1-22）	43

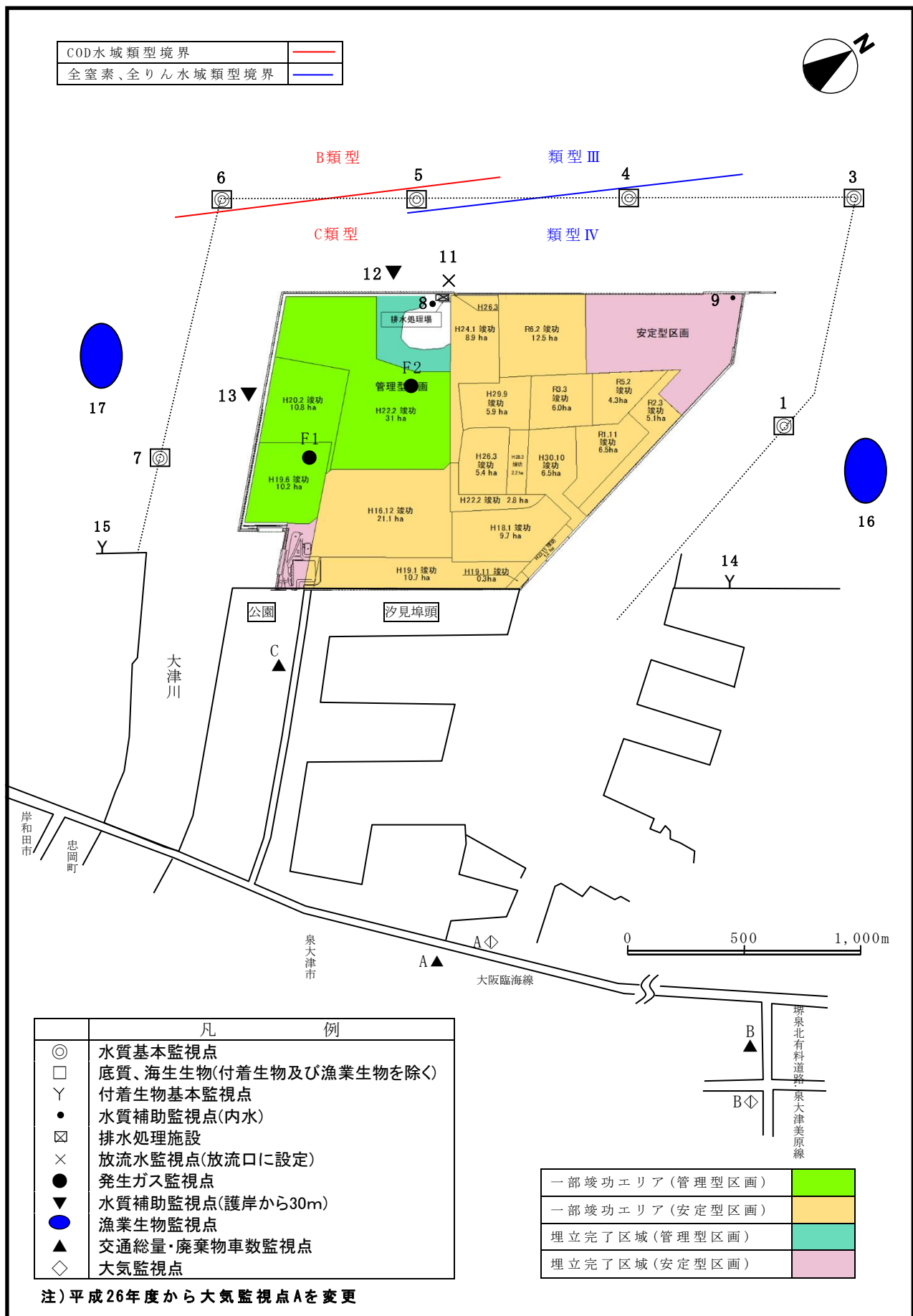
Ⅱ 大阪基地	45
1 環境監視結果の概要	47
1.1 環境監視の実施状況	47
1.2 環境監視の結果	47
（1）交通量	47
（2）大気質	48
環境監視調査地点位置図（図2-1）	49
2 環境監視結果	50
監視結果総括（交通量、大気質）（表2-1）	50
交通量調査結果（表2-2）	51
大気質調査結果（表2-3～9，図2-2～6）	52

Ⅲ 堺基地	61
1 環境監視結果の概要	63
1.1 環境監視の実施状況	63
1.2 環境監視の結果	63
(1) 交通量	63
(2) 大気質	64
環境監視調査地点位置図(図3-1)	65
2 環境監視結果	66
監視結果総括(交通量、大気質)(表3-1)	66
交通量調査結果(表3-2)	67
大気質調査結果(表3-3～9, 図3-2～6)	68

1.1 処分場の受入量

表 1 - 1 廃棄物等の受入れ状況（令和7年2月分）（単位：t）

- 1 -



注) 残土のみの受入であり、ポンド部の投入はなく、覆土の作業のみを行った。

図 1 - 1 環境監視調査地点位置図 (泉大津沖埋立処分場及び泉大津基地: 令和7年2月)

1.2 環境監視の実施状況

環境監視計画に基づく令和7年2月の環境監視の実施状況は次表のとおりである。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	頻度	実施日
水質	濁度、水温、COD(化学的酸素要求量)、DO(溶存酸素量)、pH	管理型排水処理施設放流水 (St. 11)	1地点	連続測定	2/1～28
	SS(浮遊物質質量)			週1回	2/4, 12, 18, 25
	COD、pH、全窒素			月1回	2/4
	透明度、水温、SS、COD、DO、pH	補助監視点(内水) (St. 8, 9 ^{注1})	2地点	週1回	2/4, 12, 18, 25
	クロロフィルa、FSS(不揮発性浮遊物質質量)、塩分			年4回	2/4
	大腸菌数、大腸菌群数	放流水(St. 11) 補助監視点(St. 8)	2地点		
	濁度、透明度、水温 SS、クロロフィルa、FSS、 塩分、COD、DO、pH	基本監視点 (St. 1, 3～7) 補助監視点 (St. 12, 13)	8地点	月1回	2/20
	全窒素、全リン、 大腸菌数、 ノルマルヘキサン抽出物質	基本監視点 (St. 1, 3～7) 補助監視点 (St. 8, 12, 13) 放流水 (St. 11)	10地点	年4回	2/20
	フェノール類、銅、亜鉛、 総クロム、溶解性鉄、 溶解性マンガ、硝酸性窒素、 亜硝酸性窒素	補助監視点(内水) (St. 9 ^{注1})	1地点	年1回	—
	カドミウム、全シアン、有機リン、 鉛、六価クロム、砒素、 総水銀、アルキル水銀、 PCB、ジクロロメタン、 四塩化炭素、 1,2-ジクロロエタン、 1,1-ジクロロエチレン、 シス-1,2-ジクロロエチレン、 1,1,1-トリクロロエタン、 1,1,2-トリクロロエタン、 トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、 1,3-ジクロロプロペン、 チナム、シマジン、 チオベンカルブ、 ベンゼン、セレン、硝酸性窒素 及び亜硝酸性窒素、 ほう素、ふっ素、 1,4-ジオキサン、アンモニア等、 クロロエチレン、 1,2-ジクロロエチレン (注)有機リン及びほう素は St. 8, 9, 11のみ、クロロエチレン 及び1,2-ジクロロエチレンは St. 12, 13のみ測定	基本監視点 (St. 1, 3～7) 補助監視点 (St. 12, 13)	8地点	年2回	2/20
		補助監視点(内水) (St. 8)	1地点	年4回	2/4
		管理型排水処理 施設放流水 (St. 11)	1地点	年4回	2/4
		補助監視点(内水) (St. 9 ^{注1})	1地点	年1回	2/4
	ダイオキシン類	管理型排水処理 施設放流水 (St. 11) 補助監視点(内水) (St. 8) 補助監視点 (St. 12, 13)	4地点	年4回	2/4

注1) St. 9は埋立ての進捗に伴って、内水が消滅したため、令和3年度より測定を終了した。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	頻度	実施日
底質	含水率、粒度組成、 COD、強熱減量、 全窒素、硫化物、 全燐、カドミウム、シアン、 有機燐、鉛、六価クロム、 PCB、砒素、総水銀、 アルキル水銀、トリクロエチレン、 テトラクロエチレン、 銅、亜鉛、ふっ素	基本監視点 (St. 1, 3~7)	6 地点	年 2 回	2/25
海生生物	プランクトン	基本監視点 (St. 1, 3~7)	6 地点	年 4 回	2/20
	底生生物				2/25
	魚卵・稚仔魚				2/25
	付着生物	St. 14, 15	2 地点		2/12
	漁業生物	St. 16, 17	2 地点		2/24~25
交通量	総交通量 (2車種分類 ^{注)})	A, B, C	3 地点	年 4 回	2/14
				毎正時 (10時間)	
	廃棄物車数 (2車種分類 ^{注)})			全交通量	
騒音・振動	騒音レベル、振動レベル	A, B	2 地点	年 2 回 毎正時 (10時間)	—
大気質	二酸化硫黄、一酸化窒素、 二酸化窒素、浮遊粒子状 物質、風向・風速			年 4 回 1週間 (連続)	2/14~20
悪臭	臭気強度、臭気濃度	D 1, D 2	風上・風下	年 2 回	—
	悪臭物質 (悪臭防止法22物質)	E	1 地点	年 1 回	—
発生ガス	メタン濃度	F 1, F 2	2 地点	年 2 回	2/5

注) 2車種分類とは、総交通量、廃棄物車とも大型車と大型車以外の2種とする。

1.3 環境監視の結果

〔 1 〕 海域調査

(1) 水質

水質の調査結果を表 1－2～表 1－4 に示す。

① 日 調 査

放 流 水 （ 表 1 － 2 ）

〔管理型排水処理施設放流水(St. 11)〕

濁度は 18～34度(カオリン)、CODは 16～21mg/L(管理基準値60mg/L)、pHは 7.5～7.9(管理基準値5.0以上9.0以下)であり、特に問題のない結果であった。

② 週 調 査

内 水 （ 表 1 － 3 ）

〔管理型区画内水(St. 8)〕

SSは 13～14mg/L、CODは 25～27mg/L であった。

〔安定型区画内水(St. 9)〕

埋立ての進捗に伴って、内水が消滅したため、令和3年度より測定を終了した。

放 流 水 （ 表 1 － 3 ）

〔管理型排水処理施設放流水(St. 11)〕

放流水のSSは 12～14mg/L（管理基準値50mg/L）であった。

③ 月 調 査

海 域 （ 表 1 － 4 (1) ）

〔基本監視点(St. 1, 3～7)〕

(表層)

濁度は全監視点 <1度(カオリン) (目安値 11度(カオリン))、FSSは全監視点 <1mg/L (監視基準値 5mg/L)、CODは 1.8～2.2mg/L、D0は 10～11mg/L、pHは全監視点 8.3であり、特に問題のない結果であった。

(底層)

濁度は全監視点 <1度(カオリン) (目安値 9度(カオリン))、FSSは <1～1mg/L (監視基準値 7mg/L)、CODは 1.8～2.1mg/L、D0は 10～11mg/L、pHは 8.2～8.3であり、特に問題のない結果であった。

(参考) 環境基準

St. 1, 3, 4, 5, 7 : C 類型 (COD 8 mg/L 以下、D0 2 mg/L 以上、pH 7.0～8.3)

St. 6 : B 類型 (COD 3 mg/L 以下、D0 5 mg/L 以上、pH 7.8～8.3)

[補助監視点(St. 12, 13)]

(表層)

CODは 2.0及び1.5mg/L、D0は両監視点ともに10mg/L、pHは両監視点ともに 8.3で、C類型環境基準を満足していた。

(底層)

CODは 1.8及び1.5mg/L、D0は 9.8及び9.7mg/L、pHは両監視点ともに 8.2で、C類型環境基準を満足していた。

(参考) 環境基準

St. 12, 13 : C 類型 (COD 8 mg/L 以下、D0 2 mg/L 以上、pH 7.0～8.3)

放流水 (表 1 - 4 (1))

[管理型排水処理施設放流水(St. 11)]

CODは 26mg/L (管理基準値60mg/L)、pHは 7.5 (管理基準値5.0以上9.0以下)、全窒素は 47mg/L (管理基準値60mg/L) であった。

④年 4 回 調 査

海 域 (表 1 - 4 (1) ～ (2) 、表 1 - 4 (4))

[基本監視点(St. 1, 3～7)]

(生活環境項目)

(表層)

全窒素は 0.21～0.73mg/L、全リンは 0.023～0.028mg/L、大腸菌数は <1～6CFU/100mL、ノルマルヘキサン抽出物質はいずれも報告下限値未満であり、特に問題のない結果であった。

(底層)

全窒素は 0.26～0.41mg/L、全リンは 0.025～0.044mg/Lであり、特に問題のない結果であった。

(参考) 環境基準

St. 1, 3, 4, 7 : 類型Ⅳ (全窒素 1 mg/L 以下、全リン 0.09 mg/L 以下)

St. 5, 6 : 類型Ⅲ (全窒素 0.6 mg/L 以下、全リン 0.05 mg/L 以下)

St. 1, 3～7 : 大腸菌数 (B・C類型は基準なし)

St. 6 : n-ヘキサン抽出物質 (B類型 検出されないこと。C類型は基準なし。)

(特殊項目)

(表層)

銅は <0.001～0.001mg/L、亜鉛は 0.002～0.005mg/L、溶解性鉄は <0.01～0.01mg/L、硝酸性窒素は <0.04～0.11mg/L、亜硝酸性窒素は <0.005～0.011mg/L であり、その他の項目はいずれも報告下限値未満であった。

(底層)

銅は <0.001～0.002mg/L、亜鉛は 0.002～0.003mg/L、溶解性鉄は <0.01～0.01mg/L、硝酸性窒素は <0.04～0.07 mg/L、亜硝酸性窒素は <0.005～0.006mg/L であり、その他の項目はいずれも報告下限値未満であった。

[補助監視点(St. 12, 13)]

(生活環境項目)

(表層)

全窒素は 0.31及び0.19mg/L、全リンは 0.033及び0.028mg/L、大腸菌数は両監視点ともに <1CFU/100mL、ノルマキサン抽出物質は両監視点ともに報告下限値未満であり、特に問題のない結果であった。

(底層)

全窒素は 0.23及び0.20mg/L、全リンは 0.028及び0.030mg/Lであり、特に問題のない結果であった。

(参考) 環境基準

St. 12, 13 : 類型Ⅳ (全窒素 1 mg/L 以下、全リン 0.09 mg/L 以下)

C 類型 (大腸菌数 基準なし、ノルマキサン抽出物質 基準なし)

(特殊項目)

(表層)

銅は 0.001及び<0.001mg/L、亜鉛は 0.007及び0.003mg/L、硝酸性窒素は 0.05及び<0.04mg/L、亜硝酸性窒素は 0.005及び<0.005mg/Lであり、その他の項目はいずれも報告下限値未満であった。

(底層)

亜鉛は 0.002及び0.006mg/Lであり、その他の項目はいずれも報告下限値未満であった。

(ダイオキシン類)

ダイオキシン類は 0.069及び0.085pg-TEQ/L (SSは 3及び2mg/L)であり、環境基準 (1pg-TEQ/L 以下) を満足していた。

内 水（表 1－4（1）～（4））

〔管理型区画内水(St. 8)〕

（一般項目）

FSSは 7mg/Lであった。

（生活環境項目）

全窒素は 48mg/L、全燐は 0.078mg/L、大腸菌群数は <1個/cm³、大腸菌数は <1CFU/100mL、ノルマルヘキサン抽出物質は報告下限値未満であった。

（特殊項目）

フェノール類は 0.08mg/L、亜鉛は 0.009mg/L、溶解性マンガンは 0.12mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

（健康項目）

砒素は 0.009mg/L、ほう素は 2.1mg/L、ふっ素は 1.7mg/L、アンモニア等は 19mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

（ダイオキシン類）

ダイオキシン類は 0.032pg-TEQ/L、SSは 13mg/Lであった。

放 流 水（表 1－4（1）～（4））

〔管理型排水処理施設放流水(St. 11)〕

（生活環境項目）

全窒素は 47mg/L（管理基準値60mg/L）、全燐は 0.066mg/L（管理基準値8mg/L）、大腸菌群数は <1個/cm³、大腸菌数は 2CFU/100mLであり、ノルマルヘキサン抽出物質は報告下限値未満であった。

（特殊項目）

フェノール類は 0.07mg/L、亜鉛は 0.017mg/L、溶解性マンガンは 0.12mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

（健康項目）

砒素は 0.009mg/L、ほう素は 2.2mg/L、ふっ素は 1.7mg/L、アンモニア等は 18mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

（ダイオキシン類）

ダイオキシン類は 0.00092pg-TEQ/L、SSは 13mg/Lで、ダイオキシン類の管理基準値（10 pg-TEQ/L）、さらにSSの管理基準値（50mg/L）を下回っていた。

⑤年 2 回 調 査

海 域（表 1－4（3））

〔基本監視点(St. 1, 3～7)〕

（健康項目）

砒素は 0.003～0.004mg/L、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素は <0.045～0.12mg/L、

ふっ素は 0.65～1.4mg/L、アンモニア等は 0.03～0.15mg/L であり、その他の項目は報告下限値未満であった。

[補助監視点(St. 12, 13)]

(健康項目)

(表層)

砒素は両監視点ともに 0.004mg/L、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素は 0.055及び<0.045mg/L、ふっ素は 1.4及び1.5mg/L、アンモニア等は 0.08及び0.03mg/L であり、その他の項目は報告下限値未満であった。

(底層)

砒素は両監視点ともに 0.004mg/L、ふっ素は両監視点ともに 1.5mg/L、アンモニア等は 0.01及び0.02mg/L であり、その他の項目は報告下限値未満であった。

(2) 底質

底質の調査結果を表 1－5 に示す。

① 年 2 回 調 査

海 域 (表 1－5 (1)～(2))

[基本監視点(St. 1, 3～7)]

シルト分以下(シルト、粘土)の占める割合は 73.2～98.6%であった。その他の項目については、強熱減量が 5.5～10%、CODsedが 10～38mg/g乾泥、硫化物が 0.3～1.2mg/g乾泥、全窒素が 970～2,500mg/kg乾泥、全燐が 220～580mg/kg乾泥であった。

また、健康項目のうち、検出された項目は、カドミウムが 0.18～0.80mg/kg乾泥、鉛が 30～59mg/kg乾泥、砒素が 8.3～10mg/kg乾泥、総水銀が 0.17～0.65mg/kg乾泥、PCBが <0.01～0.02mg/kg乾泥、銅が 19～46mg/kg乾泥、亜鉛が 100～290mg/kg乾泥、ふっ素が 87～120mg/kg乾泥であった。

(3) 海生生物

海生生物の調査結果を表1-6～表1-12及び図1-2に示す。

①年4回調査

ア) 植物プランクトン (表1-6(1)～(2))

種類数が表層では24～27種類(総種類数39種類)、底層では28～30種類(総種類数46種類)の範囲にあり、細胞数は表層では1,218～4,042細胞/mL、底層では1,230～2,449細胞/mLの範囲であった。

イ) 動物プランクトン (表1-7)

種類数が22～32種類(総種類数37種類)の範囲にあり、個体数は61,992～115,662個体/m³の範囲であった。

ウ) 魚卵 (表1-8)

今回は、全調査点において何も採捕されなかった。

エ) 稚仔魚 (表1-9)

種類数が0～2種類(総種類数3種類)の範囲にあり、個体数は0～6個体/1,000m³の範囲であった。

オ) 底生生物 (表1-10)

種類数が9～19種類(総種類数31種類)の範囲にあり、個体数は81～447個体/0.1m²の範囲であった。

カ) 付着生物 (表1-11(1)～(4))

[ベルトトランセクト法による観察]

種類数は植物が調査点14で17種類、調査点15で16種類、動物が調査点14で32種類、調査点15で30種類観察された。

鉛直分布では、調査点14で植物のムカデノリ科、イギス科及び動物のカンザシゴカイ科が広範囲にみられ、調査点15で動物のカンザシゴカイ科及びコケムシ綱が広範囲に多くみられた。

[坪刈り調査]

植物は種類数が両地点で1～7種類(総種類数11種類)の範囲にあり、湿重量は0.1g未満～96.9g/0.09m²の範囲にあった。動物は種類数が両地点で2～33種類(総種類数56種類)の範囲にあり、個体数は104～3,254個体/0.09m²、湿重量は0.9～59.8g/0.09m²の範囲であった。

キ) 漁業生物 (表1-12(1)～(2))

種類数は調査点16が1種類、調査点17が2種類(総種類数2種類)、個体数では調査点16、17ともに2個体/網、さらに湿重量では調査点16が1,620.1g/網、調査点17が588.8g/網であった。

〔 2 〕 陸 域 調 査

交通量及び大気質の監視結果について、総括を表 1－13に、各測定・調査項目ごとの結果を表 1－14～表 1－21及び図 1－3～図 1－7に示す。

(1) 交通量（表 1－13、表 1－14）

7) 大阪臨海線沿道の測定点 A

時間交通量は 1,927～3,186台、廃棄物車の時間交通量は 0～2台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 5台／10hrで、総交通量(23,789台／10hr)に占める割合は 0.0%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

1) 泉大津美原線沿道の測定点 B

時間交通量は 602～912台、廃棄物車の時間交通量は 0～2台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 3台／10hrで、総交通量(7,563台／10hr)に占める割合は 0.0%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

7) 泉大津基地近傍の測定点 C

時間交通量は 252～396台、廃棄物車の時間交通量は 0台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 0台／10hrで、総交通量(3,270台／10hr)に占める割合は 0.0%であった。

(2) 大気質（表 1－15～表 1－21）

7) 大阪臨海線沿道の測定点 A

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西であり、平均風速は 2.1m/secであった。

1) 泉大津美原線沿道の測定点 B

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は南西であり、平均風速は 1.0m/secであった。

(3) 発生ガス（表 1－22）

発生ガス調査結果を表 1－22に示す。

発生ガス中のメタン濃度はF 1 地点が 3.0ppm、F 2 地点が 2.0ppmであった。なお、大気環境中のメタン濃度はF 1 地点が 3.0ppm、F 2 地点が 4.0ppmであった。

F 1 地点についてはアスファルト舗装されているため、平成19年度の調査から高濃度の値が検出されていた。平成27年2月以降は低い値で推移していた。令和3年2月において近年では比較的高い値が検出されていたが、令和3年度以降は再び減少傾向に転じている。〔（参考：F1地点の濃度）H19年8月：380,000ppm(38%)、H20年8月：280,000ppm(28%)、H21年2月：160,000 ppm(16%)、H21年8月：220,000ppm(22%)、H22年2月：17,000ppm (1.7%)、H22年8月：37,000ppm(3.7%)、H23年2月：200,000ppm(20%)、H23年8月：380,000ppm(38%)、H24年2月：290,000ppm(29%)、H24年8月：58,000ppm(5.8%)、H25年2月：17,000ppm(1.7%)、H25年8月：42,000 ppm(4.2%)、H26年2月：15,000 ppm(1.5%)、H26年8月：6,400 ppm(0.6%)、H27年2月：2.0 ppm(0.0%)、H27年8月：2,200 ppm(0.2%)、H28年2月：440 ppm(0.0%)、H28年8月：920 ppm(0.1%)、H29年2月：2.5 ppm(0.0%)、H29年8月：170 ppm(0.0%)、H30年2月：110 ppm(0.0%)、H30年8月：3,600 ppm(0.4%)、H31年2月：16 ppm(0.0%)、R1年8月：350ppm(0.0%)、R2年2月：5.2ppm(0.0%)、R2年8月：1,800ppm(0.2%)、R3年2月：85,000ppm(8.5%)、R3年8月：34,000ppm(3.4%)、R4年2月：15,000ppm(1.5%)、R4年8月：300ppm(0.0%)、R5年2月：33ppm(0.0%)、R5年8月：34ppm(0.0%)、R6年2月：630ppm(0.0%)、R6年8月：3.5ppm(0.0%)〕。

2 環境監視結果

海 域 調 査 結 果

表 1 - 2 放流水の測定結果〔日調査〕（令和7年2月）

測定日 (曜日)	濁 度 (度(カオリン)) MIN.~MAX.	水 温 (℃) MIN.~MAX.	COD (mg/L) MIN.~MAX.	DO (mg/L) MIN.~MAX.	pH (-) MIN.~MAX.
1(土)	29 ~ 33 (32)	6.7 ~ 7.3 (6.9)	20 ~ 21 (20)	9.8 ~ 10 (10)	7.6 ~ 7.6 (-)
2(日)	27 ~ 30 (28)	6.8 ~ 7.3 (7.1)	20 ~ 20 (20)	10 ~ 10 (10)	7.6 ~ 7.6 (-)
3(月)	24 ~ 27 (25)	7.1 ~ 8.1 (7.3)	20 ~ 21 (20)	9.6 ~ 10 (10)	7.6 ~ 7.6 (-)
4(火)	23 ~ 24 (23)	6.3 ~ 7.1 (6.7)	20 ~ 21 (20)	10 ~ 11 (10)	7.6 ~ 7.6 (-)
5(水)	23 ~ 28 (25)	4.7 ~ 6.4 (6.0)	20 ~ 21 (20)	10 ~ 11 (10)	7.6 ~ 7.6 (-)
6(木)	28 ~ 33 (30)	5.2 ~ 5.7 (5.5)	20 ~ 21 (20)	10 ~ 11 (10)	7.7 ~ 7.7 (-)
7(金)	32 ~ 34 (33)	4.7 ~ 6.0 (5.2)	20 ~ 21 (20)	9.9 ~ 11 (11)	7.7 ~ 7.7 (-)
8(土)	32 ~ 34 (33)	2.7 ~ 4.7 (4.2)	20 ~ 21 (20)	9.9 ~ 11 (11)	7.6 ~ 7.7 (-)
9(日)	32 ~ 34 (33)	2.4 ~ 6.8 (4.3)	19 ~ 20 (20)	11 ~ 11 (11)	7.6 ~ 7.9 (-)
10(月)	32 ~ 34 (33)	3.4 ~ 6.7 (4.6)	16 ~ 20 (20)	11 ~ 11 (11)	7.5 ~ 7.6 (-)
11(火)	25 ~ 31 (29)	4.8 ~ 5.6 (5.1)	20 ~ 21 (20)	11 ~ 11 (11)	7.6 ~ 7.7 (-)
12(水)	29 ~ 31 (30)	4.9 ~ 6.1 (5.1)	20 ~ 21 (20)	10 ~ 11 (11)	7.7 ~ 7.7 (-)
13(木)	28 ~ 30 (29)	5.3 ~ 5.7 (5.5)	20 ~ 21 (20)	10 ~ 11 (11)	7.7 ~ 7.7 (-)
14(金)	26 ~ 29 (27)	5.1 ~ 6.4 (5.6)	20 ~ 21 (20)	9.9 ~ 11 (11)	7.7 ~ 7.7 (-)
15(土)	24 ~ 26 (25)	5.2 ~ 6.0 (5.7)	20 ~ 21 (20)	7.1 ~ 10 (9.3)	7.6 ~ 7.7 (-)
16(日)	21 ~ 24 (23)	6.0 ~ 7.1 (6.5)	20 ~ 21 (20)	6.6 ~ 8.3 (7.7)	7.5 ~ 7.6 (-)

測定日 (曜日)	濁 度 (度(カオリン)) MIN.～MAX.	水 温 (℃) MIN.～MAX.	COD (mg/L) MIN.～MAX.	DO (mg/L) MIN.～MAX.	pH (-) MIN.～MAX.
17(月)	20 ～ 23 (21)	6.5 ～ 7.5 (6.8)	19 ～ 21 (20)	6.2 ～ 10 (8.6)	7.5 ～ 7.6 (-)
18(火)	21 ～ 23 (22)	6.4 ～ 7.2 (6.7)	20 ～ 21 (20)	9.8 ～ 11 (10)	7.7 ～ 7.7 (-)
19(水)	22 ～ 24 (23)	6.1 ～ 7.0 (6.5)	20 ～ 20 (20)	10 ～ 11 (10)	7.7 ～ 7.7 (-)
20(木)	23 ～ 24 (23)	5.9 ～ 6.8 (6.3)	20 ～ 21 (20)	10 ～ 11 (11)	7.8 ～ 7.8 (-)
21(金)	23 ～ 24 (23)	6.1 ～ 6.6 (6.3)	20 ～ 20 (20)	11 ～ 11 (11)	7.8 ～ 7.8 (-)
22(土)	21 ～ 23 (22)	5.3 ～ 6.1 (5.9)	20 ～ 21 (20)	8.9 ～ 11 (9.6)	7.7 ～ 7.8 (-)
23(日)	20 ～ 21 (21)	4.5 ～ 5.5 (5.0)	19 ～ 21 (20)	7.9 ～ 8.9 (8.4)	7.6 ～ 7.7 (-)
24(月)	18 ～ 20 (19)	4.3 ～ 5.2 (4.7)	19 ～ 20 (20)	6.9 ～ 9.6 (7.4)	7.6 ～ 7.6 (-)
25(火)	18 ～ 20 (19)	4.5 ～ 6.6 (5.6)	19 ～ 20 (20)	6.7 ～ 10 (8.5)	7.6 ～ 7.7 (-)
26(水)	19 ～ 22 (21)	6.2 ～ 7.7 (6.9)	20 ～ 20 (20)	9.8 ～ 11 (10)	7.7 ～ 7.8 (-)
27(木)	22 ～ 23 (22)	7.0 ～ 8.2 (7.6)	20 ～ 21 (20)	9.8 ～ 10 (10)	7.8 ～ 7.8 (-)
28(金)	20 ～ 23 (21)	7.7 ～ 9.2 (8.0)	20 ～ 21 (20)	9.3 ～ 11 (10)	7.8 ～ 7.8 (-)
	～ ()	～ ()	～ ()	～ ()	～ (-)
	～ ()	～ ()	～ ()	～ ()	～ (-)
	～ ()	～ ()	～ ()	～ ()	～ (-)
2 月 集計結果	18 ～ 34 (26)	2.4 ～ 9.2 (6.0)	16 ～ 21 (20)	6.2 ～ 11 (10)	7.5 ～ 7.9 (-)

注：()内は平均値を示す。

表 1 - 3 放流水、内水の測定結果 [週調査] (令和7年2月)

調 査 日	調査地点(St.)		透明度 (m)	水 温 (℃)	SS (mg/L)	CODMn (mg/L)	DO (mg/L)	pH (-)	T-N (mg/L)
2月4日 (火)	8		0.5	6.9	13	26	4.9	7.5	48
	11		-	6.8	13	26	-	7.5	47
2月12日 (水)	8		0.4	5.3	14	26	6.9	7.6	42
	11		-	5.2	14	-	-	-	42
2月18日 (火)	8		0.5	7.1	13	25	5.8	7.6	44
	11		-	7.3	12	-	-	-	40
2月25日 (火)	8		0.5	6.7	13	27	7.1	7.7	51
	11		-	6.2	12	-	-	-	44
	8		-	-	-	-	-	-	-
	11		-	-	-	-	-	-	-
集 計 結 果	調査地点(St.)		透明度 (m)	水 温 (℃)	SS (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	pH (-)	T-N (mg/L)
	8 [管理型内水]	最大値	0.5	7.1	14	27	7.1	7.7	51
		最小値	0.4	5.3	13	25	4.9	7.5	42
		平均値	0.5	6.5	13	26	6.2	-	46
	11 [放流水]	最大値	-	7.3	14	26	-	7.5	47
		最小値	-	5.2	12	-	-	-	40
		平均値	-	6.4	13	-	-	-	43

表 1 - 4 (1) 基本監視点、内水、放流水及び補助監視点の測定結果
 [月調査・年4回] (一般項目及び生活環境項目) (令和7年2月)

調査年月日: 令和7年2月20日

監視区分		基 本 監 視 点									内 水	放流水	補助監視点		
項目	地点番号	1	3	4	5	6	7	最小値 ～ 最大値		平均値	8 ^{注2}	11 ^{注2}	12	13	
調査時刻	－	10:17	9:48	9:36	9:12	8:56	8:36	－	～	－	－	13:05	12:56	8:03	8:22
濁度 (度(カリ))	表層	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	～	<1	<1	－	－	<1	<1
	底層	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	～	<1	<1			1	<1
透明度 (m)	－	5.8	4.8	5.2	5.3	5.2	5.2	4.8	～	5.8	5.3	0.5	－	5.8	5.5
水温 (℃)	表層	7.8	7.9	8.0	7.7	7.5	7.8	7.5	～	8.0	7.8	6.9	6.8	7.4	8.0
	底層	8.1	8.2	8.3	8.3	8.3	8.2	8.1	～	8.3	8.2			8.6	8.2
S S (mg/L)	表層	2	1	1	1	1	2	1	～	2	1	13	13	2	1
	底層	2	2	2	2	2	2	2	～	2	2			2	2
クロロフィルa (μ g/L)	表層	3	6	4	3	3	2	2	～	6	4	20	－	2	2
	底層	－	－	－	－	－	－	－	～	－	－			－	－
F S S (mg/L)	表層	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	～	<1	<1	7	－	<1	<1
	底層	<1	<1	<1	1	1	1	<1	～	1	1			<1	<1
塩分 (%)	表層	30.4	30.0	30.4	30.5	30.6	30.8	30.0	～	30.8	30.5	17.9	－	30.6	31.2
	底層	31.2	31.5	31.6	31.6	31.7	31.6	31.2	～	31.7	31.5			31.5	31.6
C O D (mg/L)	表層	2.1	2.1	2.1	2.2	1.8	1.8	1.8	～	2.2	2.0	26	26	2.0	1.5
	底層	2.0	2.0	2.0	2.1	1.8	1.8	1.8	～	2.1	2.0			1.8	1.5
D O (mg/L)	表層	10	11	11	11	11	10	10	～	11	11	4.9	10.3	10	10
	底層	10	11	10	10	10	10	10	～	11	10			9.8	9.7
p H	表層	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	～	8.3	－	7.5	7.5	8.3	8.3
	底層	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.2	8.2	～	8.3	－			8.2	8.2
全窒素 (mg/L)	表層	0.73	0.44	0.35	0.32	0.27	0.21	0.21	～	0.73	0.39	48	47	0.31	0.19
	底層	0.31	0.36	0.28	0.30	0.26	0.41	0.26	～	0.41	0.32			0.23	0.20
全磷 (mg/L)	表層	0.024	0.025	0.028	0.025	0.023	0.028	0.023	～	0.028	0.026	0.078	0.066	0.033	0.028
	底層	0.025	0.025	0.027	0.030	0.025	0.044	0.025	～	0.044	0.029			0.028	0.030
大腸菌数 (CFU/100mL)	表層	<1	6	<1	1	1	4	<1	～	6	2	<1	2	<1	<1
	底層	－	－	－	－	－	－	－	～	－	－			－	－
大腸菌群数 (個/cm ³)	表層	－	－	－	－	－	－	－	～	－	－	<1	<1	－	－
	底層	－	－	－	－	－	－	－	～	－	－			－	－
ノルマルヘキサン抽出物質 (mg/L)	表層	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	～	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
	底層	－	－	－	－	－	－	－	～	－	－			－	－

注1) 採水層は、表層は海面下1m、底層は海底上2mである。

注2) St. 8及びSt. 11の調査日は2月4日である。

表 1 - 4 (2) 基本監視点、内水、放流水及び補助監視点の測定結果
[年 4 回] (特殊項目) (令和7年2月)

調査年月日：令和7年2月20日

調査年月日: 令和7年2月20日

監視区分		基 本 監 視 点								内 水	放流水	補助監視点			
項目	地点番	1	3	4	5	6	7	最小値	～ 最大値	平均値	8 ^{注2}	11 ^{注2}	12	13	
調査時刻	—	10:17	9:48	9:36	9:12	8:56	8:36	—	～	—	13:05	12:56	8:03	8:22	
フェノール類	表層	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	～	<0.005	<0.005	0.08	0.07	<0.005	<0.005
	(mg/L) 底層	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	～	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005
銅	表層	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	～	0.001	0.001	<0.005	<0.005	0.001	<0.001
	(mg/L) 底層	0.001	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	～	0.002	0.001			<0.001	<0.001
亜鉛	表層	0.003	0.003	0.003	0.005	0.002	0.003	0.002	～	0.005	0.003	0.009	0.017	0.007	0.003
	(mg/L) 底層	0.003	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	～	0.003	0.002			0.002	0.006
総クロム	表層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～	<0.01	<0.01	<0.03	<0.03	<0.01	<0.01
	(mg/L) 底層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01
溶解性鉄	表層	0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～	0.01	0.01	<0.08	<0.08	<0.01	<0.01
	(mg/L) 底層	0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	～	0.01	0.01			<0.01	<0.01
溶解性マンガン	表層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～	<0.01	<0.01	0.12	0.12	<0.01	<0.01
	(mg/L) 底層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01
硝酸性窒素	表層	0.07	0.11	0.08	0.08	0.05	<0.04	<0.04	～	0.11	0.07	<0.04	<0.04	0.05	<0.04
	(mg/L) 底層	0.05	0.07	0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	～	0.07	0.05			<0.04	<0.04
亜硝酸性窒素	表層	0.007	0.011	0.008	0.007	0.005	<0.005	<0.005	～	0.011	0.007	<0.04	<0.04	0.005	<0.005
	(mg/L) 底層	0.005	0.006	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	<0.005	～	0.006	0.005			<0.005	<0.005

注1) 採水層は、表層は海面下1m、底層は海底上2mである。

注2) St. 8及びSt. 11の調査日は2月4日である。

表 1 - 4 (3) 基本監視点、内水、放流水及び補助監視点の測定結果
[年 4 回・年 2 回] (健康項目) (令和7年2月)

監視区分 項目 地点番号		基 本 監 視 点									内 水	放流水	補助監視点		
		1	3	4	5	6	7	最小値	～	最大値	平均値	8 ^{注3}	11 ^{注3}	12	13
カドミウム (mg/L)	表層	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	～	<0.0003	<0.0003	<0.005	<0.005	<0.0003	<0.0003
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.0003	<0.0003
全シアン (mg/L)	表層	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	～	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.1	<0.1
有機燐 (mg/L)	表層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	<0.1	<0.1	—	—
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	—	—
鉛 (mg/L)	表層	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	～	<0.002	<0.002	<0.005	<0.005	<0.002	<0.002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.002	<0.002
六価クロム (mg/L)	表層	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	～	<0.002	<0.002	<0.02	<0.02	<0.002	<0.002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.002	<0.002
砒素 (mg/L)	表層	0.003	0.003	0.004	0.004	0.004	0.004	0.003	～	0.004	0.004	0.009	0.009	0.004	0.004
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	0.004	0.004
総水銀 (mg/L)	表層	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	～	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀 (mg/L)	表層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	—	—
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	—	—
P C B (mg/L)	表層	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	～	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン (mg/L)	表層	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	～	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.002	<0.002
四塩化炭素 (mg/L)	表層	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	～	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン (mg/L)	表層	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	～	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	表層	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	～	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.002	<0.002
ジス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	表層	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	～	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.004	<0.004
1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	表層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.004	<0.004
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	表層	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	～	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.0005	<0.0005
1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	表層	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	～	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン (mg/L)	表層	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	～	<0.001	<0.001	<0.002	<0.002	<0.001	<0.001
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.001	<0.001
テトラクロロエチレン (mg/L)	表層	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	～	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	表層	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	～	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.0002	<0.0002
チウラム (mg/L)	表層	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	～	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.0006	<0.0006
シマジン (mg/L)	表層	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	～	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ (mg/L)	表層	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	～	<0.002	<0.002	<0.001	<0.001	<0.002	<0.002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.002	<0.002
ベンゼン (mg/L)	表層	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	～	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.001	<0.001
セレン (mg/L)	表層	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	～	<0.002	<0.002	<0.005	<0.005	<0.002	<0.002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.002	<0.002
1,4-ジオキサン (mg/L)	表層	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	～	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.005	<0.005
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素(mg/L)	表層	0.077	0.12	0.088	0.087	0.055	<0.045	<0.045	～	0.12	0.079	<0.08	<0.08	0.055	<0.045
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.045	<0.045
ほう素 (mg/L)	表層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	2.1	2.2	—	—
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	—	—
ふっ素 (mg/L)	表層	0.85	1.2	1.2	0.65	1.3	1.4	0.65	～	1.4	1.1	1.7	1.7	1.4	1.5
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	1.5	1.5
アンモニア等 (mg/L)	表層	0.09	0.15	0.12	0.10	0.07	0.03	0.03	～	0.15	0.09	19	18	0.08	0.03
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	0.01	0.02
クロロエチレン (mg/L)	表層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.0002	<0.0002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.0002	<0.0002

注1：採水層は、表層は海面下1m、底層は海底上2mである。

注2：アルキル水銀は、総水銀が定量下限値未満であったため、分析していない。

注3：St. 8及びSt. 11は年4回調査であり、調査日は2月4日である。

表 1 - 4 (4) 内水、放流水及び補助監視点の測定結果
[年 4 回調査] (ダイオキシン類) (令和7年2月)

調査年月日：令和7年2月20日

項 目	監視区分	管理型区画内水	放流水	補助監視点	
	地点番号	8 ^{注2}	11 ^{注2}	12	13
ダイオキシン類	(pg-TEQ/L)	0.032	0.00092	0.069	0.085
(管理基準値)	(pg-TEQ/L)	-	10	-	-
S S	(mg/L)	13	13	3	2
(管理基準値)	(mg/L)	-	50	-	-

注1：毒性等価係数はWHO-TEF(2006)を適用した。

注2：St. 8及びSt. 11の調査日は2月4日である。

ダイオキシン類の毒性当量結果について

管理型区画内水, 放流水：定量下限未満の測定値は実測濃度を0（ゼロ）として算出

補助監視点：検出下限以上の測定値はそのまま用い、検出下限未満の測定結果は検出下限の
1/2を用いて算出

表 1－5（1） 底質（海域）測定結果〔年 2 回調査〕（令和 7 年 2 月）

(一般項目)			調査年月日：令和7年2月25日									
項目		採取地点 単位	1	3	4	5	6	7	最小値	～	最大値	平均値
			調査時刻									
			11:07	10:54	10:41	10:28	10:15	10:02	—	～	—	—
泥温		(℃)	8.6	8.6	8.5	8.7	8.5	8.6	8.5	～	8.7	8.6
含水率		(%)	49	59	65	66	67	73	49	～	73	63
粒度組成	粗礫分 (19～75mm)	(%)	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—
	中礫分 (4.75～19mm)	(%)	1.7	—	—	—	—	—	1.7	～	1.7	1.7
	細礫分 (2～4.75mm)	(%)	2.6	—	—	—	0.4	—	0.4	～	2.6	1.5
	粗砂分 (0.85～2mm)	(%)	4.7	0.4	0.4	0.6	0.2	—	0.2	～	4.7	1.3
	中砂分 (0.25～0.85mm)	(%)	9.4	0.6	0.5	0.4	0.4	0.5	0.4	～	9.4	2.0
	細砂分 (0.075～0.25mm)	(%)	8.4	0.8	1.4	0.8	0.4	1.1	0.4	～	8.4	2.2
	シルト分 (0.005～0.075mm)	(%)	53.8	72.0	83.4	85.1	84.9	84.7	53.8	～	85.1	77.3
	粘土分 (0.005mm以下)	(%)	19.4	26.2	14.3	13.1	13.7	13.7	13.1	～	26.2	16.7
	シルト分以下 (0.075mm以下)	(%)	73.2	98.2	97.7	98.2	98.6	98.4	73.2	～	98.6	94.1
強熱減量 (I.L)		(%)	5.5	8.0	8.8	8.7	8.5	10	5.5	～	10	8.3
化学的酸素要求量 (COD _{sed})		(mg/g乾泥)	10	12	24	28	26	38	10	～	38	23
硫化物 (T-S)		(mg/g乾泥)	0.3	0.3	0.4	0.5	0.4	1.2	0.3	～	1.2	0.5
全窒素 (T-N)		(mg/kg乾泥)	970	1200	1500	1600	1900	2500	970	～	2500	1600
全磷 (T-P)		(mg/kg乾泥)	220	290	400	400	520	580	220	～	580	400

表 1－5（2） 底質（海域）測定結果〔年 2 回調査〕（令和 7 年 2 月）

(健康項目)		調査年月日：令和7年2月25日									
項目	採取地点 単位	1	3	4	5	6	7	最小値	～	最大値	平均値
カドミウム	(mg/kg乾泥)	0.18	0.21	0.71	0.77	0.80	0.58	0.18	～	0.80	0.54
シアン	(mg/kg乾泥)	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	～	<0.1	<0.1
有機磷	(mg/kg乾泥)	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	～	<0.1	<0.1
鉛	(mg/kg乾泥)	30	38	55	55	59	54	30	～	59	49
六価クロム	(mg/kg乾泥)	<2	<2	<2	<2	<2	<2	<2	～	<2	<2
砒素	(mg/kg乾泥)	10	9.2	10	10	10	8.3	8.3	～	10	10
総水銀	(mg/kg乾泥)	0.17	0.34	0.46	0.47	0.21	0.65	0.17	～	0.65	0.38
アルキル水銀	(mg/kg乾泥)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～	<0.01	<0.01
トリクロロエチレン	(mg/kg乾泥)	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	～	<0.05	<0.05
テトラクロロエチレン	(mg/kg乾泥)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～	<0.01	<0.01
P C B	(mg/kg乾泥)	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.01	0.02	<0.01	～	0.02	0.01
銅	(mg/kg乾泥)	19	27	41	44	43	46	19	～	46	37
亜鉛	(mg/kg乾泥)	100	120	270	280	290	240	100	～	290	220
ふっ素	(mg/kg乾泥)	100	87	110	110	120	97	87	～	120	100

表 1－6（1） 植物プランクトン調査結果（表層）（令和7年2月）

調査期日：令和7年2月20日							
項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1)}
種類数	26	27	25	25	27	24	39
細胞数（細胞/mL）	1,966	4,042	2,452	1,884	1,437	1,218	2,167
沈殿量（mL/L）	0.1	0.1	0.1	0.1	<0.05	<0.05	0.1
主 要 種 ^{注2)} 細胞数（%）	スケルトネマ コスタツム 1,374 (69.9)	スケルトネマ コスタツム 3,450 (85.4)	スケルトネマ コスタツム 1,902 (77.6)	スケルトネマ コスタツム 1,368 (72.6)	スケルトネマ コスタツム 894 (62.2)	スケルトネマ コスタツム 702 (57.6)	スケルトネマ コスタツム 1,615 (74.5)
	クリプト藻綱	クリプト藻綱	キートクロス属	クリプト藻綱	クリプト藻綱	クリプト藻綱	クリプト藻綱
	144 (7.3)	174 (4.3)	114 (4.6)	108 (5.7)	126 (8.8)	102 (8.4)	125 (5.8)
	タラシオラ属	タラシオラ属	クリプト藻綱	ニッチア属	タラシオラ属	キートクロス属	タラシオラ属
	96 (4.9)	84 (2.1)	96 (3.9)	90 (4.8)	84 (5.8)	72 (5.9)	73 (3.4)
	キートクロス属	ニッチア属	キートクロス デヒレ	タラシオラ属	ニッチア ブンゲンス	ニッチア ブンゲンス	キートクロス属
	90 (4.6)	74 (1.8)	75 (3.1)	72 (3.8)	70 (4.9)	71 (5.8)	68 (3.1)
	ニッチア ブンゲンス	ニッチア ブンゲンス	ニッチア属	キートクロス属	ニッチア属	タラシオラ属	ニッチア属
	66 (3.4)	59 (1.5)	54 (2.2)	53 (2.8)	54 (3.8)	54 (4.4)	62 (2.9)

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点細胞数の組成比で上位5種を示す。

表 1－6（2） 植物プランクトン調査結果（底層）（令和7年2月）

調査期日：令和7年2月20日							
項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1)}
種類数	29	28	30	29	29	28	46
細胞数（細胞/mL）	1,382	2,449	1,262	1,257	1,402	1,230	1,497
沈殿量（mL/L）	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2
主 要 種 ^{注2)} 細胞数（%）	スケルトネマ コスタツム 918 (66.4)	スケルトネマ コスタツム 1,824 (74.5)	スケルトネマ コスタツム 768 (60.9)	スケルトネマ コスタツム 666 (53.0)	スケルトネマ コスタツム 870 (62.1)	スケルトネマ コスタツム 798 (64.9)	スケルトネマ コスタツム 974 (65.1)
	キートクロス属	タラシオラ属	クリプト藻綱	ニッチア ブンゲンス	クリプト藻綱	ニッチア ブンゲンス	クリプト藻綱
	102 (7.4)	120 (4.9)	108 (8.6)	114 (9.1)	102 (7.3)	100 (8.1)	89 (5.9)
	クリプト藻綱	クリプト藻綱	ニッチア ブンゲンス	ニッチア属	ニッチア ブンゲンス	クリプト藻綱	ニッチア ブンゲンス
	84 (6.1)	90 (3.7)	73 (5.8)	90 (7.2)	96 (6.8)	78 (6.3)	83 (5.5)
	ニッチア ブンゲンス	キートクロス属	キートクロス属	クリプト藻綱	ニッチア属	ユーカンビ アザテイクス	タラシオラ属
	49 (3.5)	66 (2.7)	54 (4.3)	72 (5.7)	54 (3.9)	52 (4.2)	55 (3.7)
	ニッチア属	ニッチア ブンゲンス	キムノデ ニウム属	タラシオラ属	タラシオラ属	ニッチア属	キートクロス属
	48 (3.5)	64 (2.6)	36 (2.9)	72 (5.7)	42 (3.0)	42 (3.4)	52 (3.5)
			ニッチア属		キートクロス属		
			36 (2.9)		42 (3.0)		

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点細胞数の組成比で上位5種を示す。

表 1 - 7 動物プランクトン調査結果（令和7年2月）

調査期日：令和7年2月20日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1)}
種類数	30	29	22	32	29	28	37
個体数（個体/m ³ ）	115,662	69,274	67,399	110,884	81,363	61,992	84,429
沈殿量（mL/m ³ ）	43.9	23.9	21.3	39.3	31.2	18.5	29.7
主 要 種 ^{注2)} 個体数（%）	ノクティルカ ミリアリス 99,554 (86.1)	ノクティルカ ミリアリス 54,762 (79.1)	ノクティルカ ミリアリス 54,000 (80.1)	ノクティルカ ミリアリス 87,305 (78.7)	ノクティルカ ミリアリス 58,398 (71.8)	ノクティルカ ミリアリス 25,670 (41.4)	ノクティルカ ミリアリス 63,282 (75.0)
	カイアシ類の ノープ ^ノ リウス 期幼生 6,250 (5.4)	カイアシ類の ノープ ^ノ リウス 期幼生 5,357 (7.7)	カイアシ類の ノープ ^ノ リウス 期幼生 4,600 (6.8)	ノルト ^ノ マンエホ ^ノ シミジ ^ノ ンコ 7,813 (7.0)	ノルト ^ノ マンエホ ^ノ シミジ ^ノ ンコ 6,055 (7.4)	ノルト ^ノ マンエホ ^ノ シミジ ^ノ ンコ 19,420 (31.3)	ノルト ^ノ マンエホ ^ノ シミジ ^ノ ンコ 7,071 (8.4)
	ノルト ^ノ マンエホ ^ノ シミジ ^ノ ンコ 1,563 (1.4)	ノルト ^ノ マンエホ ^ノ シミジ ^ノ ンコ 3,175 (4.6)	ノルト ^ノ マンエホ ^ノ シミジ ^ノ ンコ 4,400 (6.5)	カイアシ類の ノープ ^ノ リウス 期幼生 6,250 (5.6)	カイアシ類の ノープ ^ノ リウス 期幼生 5,859 (7.2)	カイアシ類の ノープ ^ノ リウス 期幼生 7,366 (11.9)	カイアシ類の ノープ ^ノ リウス 期幼生 5,947 (7.0)
	パ ^ノ ラカス バル ^ノ アス 1,531 (1.3)	ア ^ノ カルチ ^ノ ア属の コベ ^ノ ボ ^ノ デ ^ノ イト ^ノ 期幼生 992 (1.4)	オ ^ノ ウミ ^ノ オ ^ノ ミ ^ノ ミ ^ノ ンコ 1,200 (1.8)	オ ^ノ イト ^ノ シミリス 1,367 (1.2)	ア ^ノ カルチ ^ノ ア属の コベ ^ノ ボ ^ノ デ ^ノ イト ^ノ 期幼生 1,953 (2.4)	ヒ ^ノ ンカ ^ノ タ ^ノ カラムシ 1,563 (2.5)	ヒ ^ノ ンカ ^ノ タ ^ノ カラムシ 928 (1.1)
	ヒ ^ノ ンカ ^ノ タ ^ノ カラムシ 1,339 (1.2)	ヒ ^ノ ンカ ^ノ タ ^ノ カラムシ 680 (1.0)	ア ^ノ カルチ ^ノ ア属の コベ ^ノ ボ ^ノ デ ^ノ イト ^ノ 期幼生 457 (0.7)	セントロバ ^ノ シ ^ノ エス ア ^ノ ブ ^ノ ト ^ノ ミナリス 1,172 (1.1)	ヒ ^ノ ンカ ^ノ タ ^ノ カラムシ 1,367 (1.7)	オ ^ノ ウミ ^ノ オ ^ノ ミ ^ノ ミ ^ノ ンコ 1,339 (2.2)	ア ^ノ カルチ ^ノ ア属の コベ ^ノ ボ ^ノ デ ^ノ イト ^ノ 期幼生 889 (1.1)

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点での上位5種を示す。

表 1－8 魚 卵 調 査 結 果（令和7年2月）

調査年月日：令和7年2月25日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平 均 ^{注1)}
種類数	0	0	0	0	0	0	0
個体数(個体/1000m ³)	0	0	0	0	0	0	0
主 要 種 ^{注2)} 個体数 (%)							

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点での上位5種を示す。

表 1－9 稚 仔 魚 調 査 結 果（令和7年2月）

調査年月日：令和7年2月25日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平 均 ^{注1)}
種類数	1	1	2	2	1	0	3
個体数(個体/1000m ³)	6	2	4	4	2	0	3
主 要 種 ^{注2)} 個体数 (%)	カサゴ 6 (100.0)	メバル属 2 (100.0)	クジメ 2 (50.0) カサゴ 2 (50.0)	クジメ 2 (50.0) カサゴ 2 (50.0)	メバル属 2 (100.0)		カサゴ 2 (55.6) メバル属 1 (22.2) クジメ 1 (22.2)

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点での上位5種を示す。

表 1 - 10 底生生物調査結果（令和7年2月）

調査期日：令和7年2月25日

項目	調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1)}
種類数	軟体動物門	6	4	5	2	6	6	10
	環形動物門	7	3	9	9	7	11	16
	節足動物門	1	1		1		2	3
	その他	1	1			1		2
	合計	15	9	14	12	14	19	31
個体数	軟体動物門	34	31	22	22	44	29	30
	環形動物門	260	115	132	58	95	416	179
	節足動物門	2	3		1		2	1
	その他	1	1			2		1
	合計	297	150	154	81	141	447	212
個体構成比 (%)	軟体動物門	11.4	20.7	14.3	27.2	31.2	6.5	14.3
	環形動物門	87.5	76.7	85.7	71.6	67.4	93.1	84.7
	節足動物門	0.7	2.0		1.2		0.4	0.6
	その他	0.3	0.7			1.4		0.3
	合計							
湿重量 (g)	軟体動物門	0.32	1.51	0.85	0.64	0.60	0.22	0.69
	環形動物門	4.93	3.12	4.51	1.23	2.54	8.56	4.15
	節足動物門	0.01	0.02		1.11		0.16	0.22
	その他	0.03	0.06			0.01		0.02
	合計	5.29	4.71	5.36	2.98	3.15	8.94	5.07
主要種 ^{注2)} 個体数 (%)	ハラブリオスピオ属 (A型)	241 (81.1)	108 (72.0)	112 (72.7)	20 (24.7)	81 (57.4)	381 (85.2)	157 (74.3)
	シズクガイ	20 (6.7)	12 (8.0)	16 (10.4)	17 (21.0)	31 (22.0)	15 (3.4)	18 (8.3)
	シガンブラ属	6 (2.0)	7 (4.7)	8 (5.2)	12 (14.8)	6 (4.3)	9 (2.0)	6 (2.8)
	ヒメノコアサリ	5 (1.7)	7 (4.7)	4 (2.6)	10 (12.3)	5 (3.5)	8 (1.8)	5 (2.3)
	ウロコムシ科	5 (1.7)	6 (4.0)	3 (1.9)	6 (7.4)	4 (2.8)	7 (1.6)	5 (2.2)
	ハラブリオスピオ属 (A型)							
	シズクガイ							
	シガンブラ属							
	ヒメノコアサリ							
	ウロコムシ科							

注 1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査地点個体数の構成比で上位5種を示す。

3. 個体数構成比は小数点2位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。

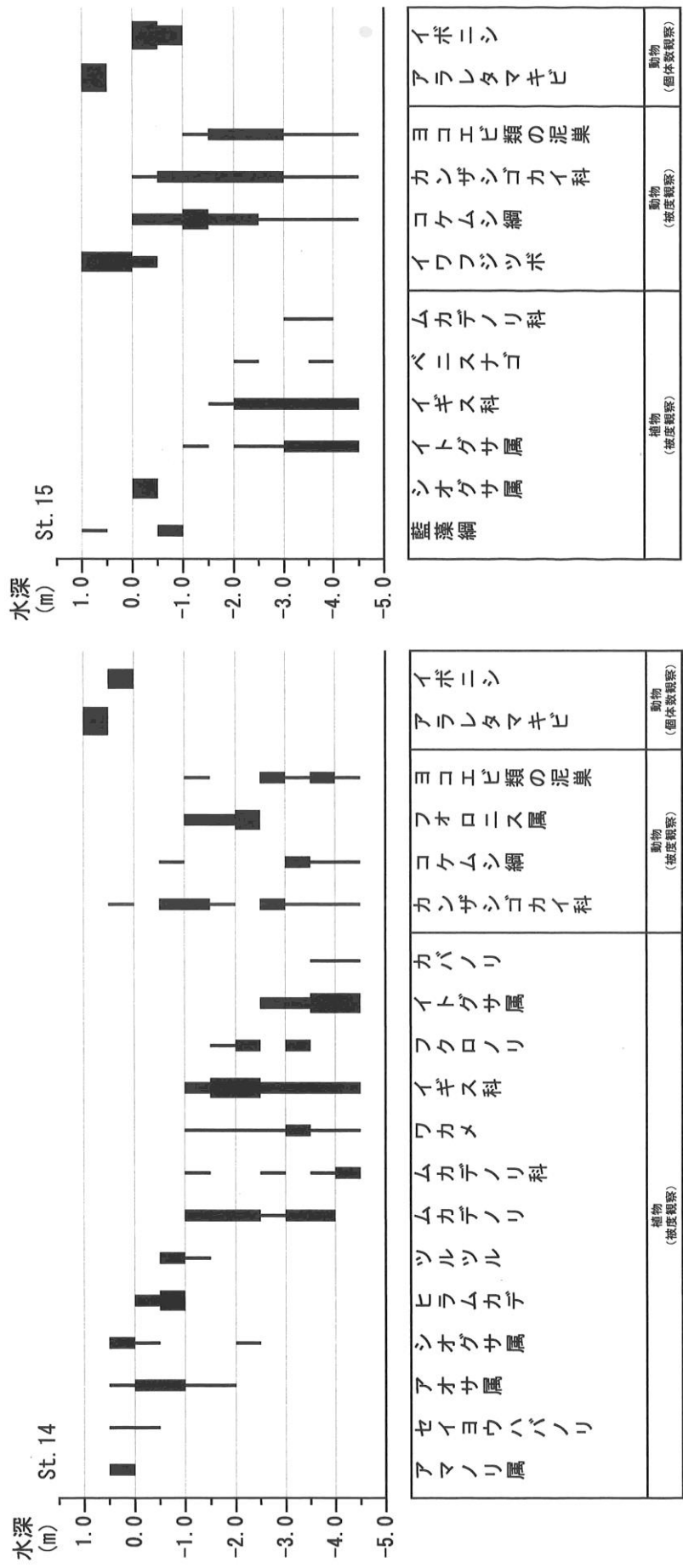
単位：1. 個体数の単位は個体/0.1㎡、湿重量の単位はg/0.1㎡。

2. 湿重量の+は0.01g未満を示す。

表 1 - 11 (1) 付着生物観察結果(ベルトトランセクト法) (令和7年2月)

門			種名 \ 調査月日 調査点	2月12日		
				14	15	
植 物	被度観察	緑藻植物門	アオリ属	r	r	
			アサ属	7	r	
			シオグサ属	4	3	
			ヒビミドロ		r	
		褐藻植物門	フクロリ	5	r	
			セイヨウハバノリ	2		
			ワカメ	8		
		紅藻植物門	アマリ属	2	r	
			ヒリヒバ	1		
			マクサ		1	
			スサケベニ	r	r	
			ツノマダ属		1	
			ムカデノリ	11		
			ヒラムカデ	5	1	
			ツルツル	3		
			ムカデノリ科	5	2	
			ベニスナコ	1	2	
			カバノリ	2	r	
			イサギス科	16	11	
			イトグサ属	10	9	
		藍藻植物門	藍藻綱		3	
	植 物 種 類 数			17	16	
動 物	被度観察	海綿動物	尋常海綿綱	1	3	
		刺胞動物	ヒドロ虫綱	r	r	
		触手動物	フォニス属	7	r	
		苔虫動物	フサケムシ科	3	4	
			コケムシ綱	5	15	
		軟体動物	オオヘビガイ	r	3	
			コウエンカリヒバリガイ	2		
			ミドリイガイ		r	
			イタボガキ科	3	3	
			キクザルガイ科		1	
		環形動物	カンザシコカイ科	11	14	
		節足動物	カメテ	r		
			イワフシツボ	2	8	
			クロフシツボ	r		
			サンカクフシツボ	1	r	
			アメリカフシツボ	r	r	
			ヨーロッパフシツボ	r	r	
			ヨコエビ類の泥巣	7	10	
		原索動物	シロホヤ	1		
			群体性ホヤ類	r	3	
			単体性ホヤ類	r	1	
	個体数観察	刺胞動物	イソギンチャク目	1	2	
		軟体動物	ヨメガサ	3	1	
			マツバガイ	1		
			ベッコウガイ	1	1	
			カモガイ		1	
			コシダカガンガラ	5		
			アラレタマキヒ	24	48	
			ムキガイ	2	3	
			レイシガイ	3	6	
			イボニシ	11	102	
			キノハナガイ	2	1	
			カラマツガイ	6	2	
			棘皮動物	イトマキヒトデ	2	5
				キヒトデ		1
		サンショウウエ			5	
		動 物 種 類 数			32	30

注：数値は、各調査点で水深+1m～海底までに連続した50×50cmの方形枠（11枠）を設置し、各枠ごとに観察した被度階級（被覆率を階級で表したもの）または個体数の合計を示す。



(凡例)

被度階級 : 被覆率 (個体数)

1 : 1~9% (1~5個体)

2 : 10~25% (6~10個体)

3 : 26~50% (11~20個体)

4・5 : 51~100% (21個体以上)

調査期日 : 令和7年2月12日

注) 各種ごとの被度階級の合計が、植物は2以上、動物は5以上、または個体数の合計が10以上の種類およびその他特徴的な出現を示す種類について作成した。

図 1 - 2 主な付着生物の鉛直分布 (令和7年2月)

表 1 - 11 (2) 付着生物観察結果(坪刈り：植物)(令和7年2月)

調査点		14				15				平均 ^{注1)}
		上層	中層	下層	合計	上層	中層	下層	合計	
種類数	緑藻植物門	2	2	3	4	1			1	4
	褐藻植物門		1		1					1
	紅藻植物門		2	3	5	1			1	5
	その他		1	1	1	1	1	1	1	1
	合計	2	6	7	11	3	1	1	3	11
湿重量 (g)	緑藻植物門	+	+	0.6	0.6	+			+	0.1
	褐藻植物門		0.2		0.2					+
	紅藻植物門		14.4	96.3	110.7	+			+	18.5
	その他		+	+	+	+	+	+	+	+
	合計	+	14.6	96.9	111.5	+	+	+	+	18.6
湿構成 重量比 (%)	緑藻植物門	100.0	<0.1	0.6	0.5					0.5
	褐藻植物門		1.4		0.2					0.2
	紅藻植物門		98.6	99.4	99.3					99.3
	その他		<0.1	<0.1	<0.1		100.0	100.0		<0.1
主 要 種 ^{注2)} 湿重量g (%)			アマノリ属 14.3 (97.9) セイヨウハハノリ 0.2 (1.4) シオグサ属 0.1 (0.7)	ツルツル 57.4 (59.2) ムカデノリ 38.7 (39.9) シオグサ属 0.5 (0.5) テングサ科 0.2 (0.2) アオサ属 0.1 (0.1)	ツルツル 57.4 (51.5) ムカデノリ 38.7 (34.7) アマノリ属 14.3 (12.8) シオグサ属 0.5 (0.4) セイヨウハハノリ 0.2 (0.2) テングサ科 0.2 (0.2)					ツルツル 9.6 (51.5) ムカデノリ 6.5 (34.7) アマノリ属 2.4 (12.8) シオグサ属 0.1 (0.4)

※各採集層：上層平均水面、中層大潮最低低潮面、下層大潮最低低潮面 1 m

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点の各層で上位5種を示す。但し、湿重量0.1g未満の種類は除く。

3. 湿重量構成比は小数点2位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。

単位：1. 湿重量は0.09㎡当たりで示す。湿重量欄の + は0.1g未満を示す。

2. 各調査点の合計欄は0.27㎡当たりで示す。

表 1－11（3） 付着生物観察結果（坪刈り：動物）（令和7年2月）

調査点 項目		14				15				平均 ^{注1)}
		上 層	中 層	下 層	合 計	上 層	中 層	下 層	合 計	
種類数	軟体動物門	1	5	9	14	6	10	8	15	21
	環形動物門		4	10	12	2	5	4	7	14
	節足動物門	1	6	9	13	2	6	4	8	16
	そ の 他		1	5	5		2	2	2	5
	合 計	2	16	33	44	10	23	18	32	56
個体数	軟体動物門	12	16	91	119	64	268	66	398	86
	環形動物門		10	41	51	2	67	66	135	31
	節足動物門	92	276	290	658	1,574	2,889	140	4,603	877
	そ の 他		2	79	81		30	6	36	20
	合 計	104	304	501	909	1,640	3,254	278	5,172	1,014
個体構成比 (%)	軟体動物門	11.5	5.3	18.2	13.1	3.9	8.2	23.7	7.7	8.5
	環形動物門		3.3	8.2	5.6	0.1	2.1	23.7	2.6	3.1
	節足動物門	88.5	90.8	57.9	72.4	96.0	88.8	50.4	89.0	86.5
	そ の 他		0.7	15.8	8.9		0.9	2.2	0.7	1.9
主 要 種 ^{注2)} 個体数 (%)		イワフジツボ 92 (88.5) アラレタマキ [*] 12 (11.5)	イワフジツボ 244 (80.3) シリケンウミミズ属 13 (4.3) モリス [*] ヨコエビ [*] 科 11 (3.6) イタボガキ科 6 (2.0) デソウ [*] クコ [*] ガイ 6 (2.0)	ヒゲナガ [*] ヨコエビ [*] 属 137 (27.3) シリケンウミミズ属 86 (17.2) コウロエンカサハ [*] リガ [*] イ 49 (9.8) 多岐腸目 42 (8.4) ゼウクソ属 37 (7.4)	イワフジツボ 336 (37.0) ヒゲナガ [*] ヨコエビ [*] 属 137 (15.1) シリケンウミミズ属 99 (10.9) コウロエンカサハ [*] リガ [*] イ 49 (5.4) 多岐腸目 42 (4.6)	イワフジツボ 1,568 (95.6) コビ [*] トラウス [*] ガイ 24 (1.5) アラレタマキ [*] 20 (1.2) イタボガキ科 9 (0.5) タマキビ 7 (0.4)	イワフジツボ 2,759 (84.8) コビ [*] トラウス [*] ガイ 184 (5.7) シリケンウミミズ属 113 (3.5) デソウ [*] クコ [*] ガイ 53 (1.6) イタボガキ科 45 (1.4)	シリケンウミミズ属 123 (44.2) デソウ [*] クコ [*] ガイ 35 (12.6) イタボガキ科 25 (9.0) コモレビ [*] コガ [*] モガ [*] イ 20 (7.2) ヤッコカンギ [*] シコ [*] ガイ 14 (5.0)	イワフジツボ 4,327 (83.7) シリケンウミミズ属 236 (4.6) コビ [*] トラウス [*] ガイ 208 (4.0) デソウ [*] クコ [*] ガイ 89 (1.7) イタボガキ科 79 (1.5)	イワフジツボ 777 (76.7) シリケンウミミズ属 56 (5.5) コビ [*] トラウス [*] ガイ 36 (3.5) ヒゲナガ [*] ヨコエビ [*] 属 23 (2.3) デソウ [*] クコ [*] ガイ 16 (1.6)

※各採集層：上層--平均水面、中層--大潮最低低潮面、下層--大潮最低低潮面－1 m

- 注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。
2. 主要種は各調査点の各層で上位5種を示す。
3. 個体数構成比は小数点2位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。
単位：1. 個体数は0.09㎡当たりで示す。
2. 各調査点の合計欄は0.27㎡当たりで示す。

表 1－11（4） 付着生物観察結果（坪刈り：動物（湿重量））（令和7年2月）

調査点 項目		14				15				平均 ^{注1)}
		上 層	中 層	下 層	合 計	上 層	中 層	下 層	合 計	
湿重量 (g)	軟体動物門	0.1	8.7	2.0	10.8	2.8	6.7	2.5	12.0	3.8
	環形動物門		0.1	0.2	0.3	+	1.1	0.8	1.9	0.4
	節足動物門	0.8	3.4	1.6	5.8	25.7	51.7	0.7	78.1	14.0
	そ の 他		+	1.1	1.1		0.3	+	0.3	0.2
	合 計	0.9	12.2	4.9	18.0	28.5	59.8	4.0	92.3	18.4
湿重量構成比 (%)	軟体動物門	11.1	71.3	40.8	60.0	9.8	11.2	62.5	13.0	20.7
	環形動物門		0.8	4.1	1.7	<0.1	1.8	20.0	2.1	2.0
	節足動物門	88.9	27.9	32.7	32.2	90.2	86.5	17.5	84.6	76.1
	そ の 他		<0.1	22.4	6.1		0.5	<0.1	0.3	1.3
主 要 種 ^{注2)} 湿重量g (%)		イワフジツボ 0.8 (88.9) アラレタマキ [*] 0.1 (11.1)	イタボガキ科 8.2 (67.2) イワフジツボ 3.0 (24.6) カラマツガイ 0.5 (4.1) ニヒサナリムシ 0.2 (1.6) デソウ [*] クコ [*] ガイ 0.1 (0.8) モリス [*] ヨコエビ [*] 科 0.1 (0.8) イソガニ属 0.1 (0.8)	コウロエンカサハ [*] リガ [*] イ 1.5 (30.6) ヒゲナガ [*] ヨコエビ [*] 属 0.9 (21.1) シリケンウミミズ属 0.5 (10.2) 多岐腸目 0.5 (10.2) ウスカサシオ [*] ガイ 0.4 (8.2) マンジ [*] ユカ [*] ヤ科 0.4 (8.2)	イタボガキ科 8.2 (45.6) イワフジツボ 3.8 (21.1) コウロエンカサハ [*] リガ [*] イ 1.5 (8.3) ヒゲナガ [*] ヨコエビ [*] 属 0.9 (5.0) カラマツガイ 0.5 (2.8) シリケンウミミズ属 0.5 (2.8) 多岐腸目 0.5 (2.8)	イワフジツボ 25.7 (90.2) カモガイ 1.4 (4.9) イタボガキ科 1.0 (3.5) タマキビ 0.4 (1.4)	イワフジツボ 51.0 (85.3) イタボガキ科 3.5 (5.9) デソウ [*] クコ [*] ガイ 1.0 (1.7) カラマツガイ 0.9 (1.5) コモレビ [*] コガ [*] モガ [*] イ 0.8 (1.3)	イタボガキ科 1.2 (30.0) コモレビ [*] コガ [*] モガ [*] イ 0.6 (15.0) シリケンウミミズ属 0.6 (15.0) デソウ [*] クコ [*] ガイ 0.5 (12.5) ウスカサシオ [*] ガイ 0.3 (7.5)	イワフジツボ 76.7 (83.1) イタボガキ科 5.7 (6.2) デソウ [*] クコ [*] ガイ 1.5 (1.6) カモガイ 1.4 (1.5) コモレビ [*] コガ [*] モガ [*] イ 1.4 (1.5)	イワフジツボ 13.4 (73.0) イタボガキ科 2.3 (12.6) シリケンウミミズ属 0.3 (1.5) デソウ [*] クコ [*] ガイ 0.3 (1.5) カラマツガイ 0.3 (1.4) コウロエンカサハ [*] リガ [*] イ 0.3 (1.4)

※各採集層：上層--平均水面、中層--大潮最低低潮面、下層--大潮最低低潮面－1 m

- 注：1. 湿重量欄の平均は平均湿重量を示す。
2. 主要種は各調査点の各層で上位5種を示す。但し、湿重量0.1g未満の種は除く。
3. 湿重量構成比は小数点2位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。
単位：1. 湿重量は0.09㎡当たりで示す。湿重量欄の+は0.1g未満を示す。
2. 各調査点の合計欄は0.27㎡当たりで示す。

表 1－12 (1) 漁業生物調査結果(刺網)(令和7年2月)

調査年月日：令和7年2月24～25日

項目 \ 調査点		16	17	平 均
種類数	魚 類	1	1	1
	甲殻類		1	1
	頭足類			
	その他			
	合 計	1	2	2
個体数	魚 類	2	1	2
	甲殻類		1	1
	頭足類			
	その他			
	合 計	2	2	2
湿重量 (g)	魚 類	1,620.1	583.5	1,101.8
	甲殻類		5.3	2.7
	頭足類			
	その他			
	合 計	1,620.1	588.8	1,104.5

注：1. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。

2. 種類数の平均欄は総種類数を示す。

3. 個体数の平均値は小数点以下を四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある。

表 1－12 (2) 漁業生物調査結果(刺網)(令和7年2月)

調査年月日：令和7年2月24～25日

項目 \ 調査点			16	17	平 均
主要種	個体数 (組成比%)	魚 類	クロダイ 2 (100.0)	クロダイ 1 (50.0)	クロダイ 2 (75.0)
		甲殻類		サメハダヘイケガニ 1 (50.0)	サメハダヘイケガニ 1 (25.0)
	湿重量 (組成比%)	魚 類	クロダイ 1,620.1 (100.0)	クロダイ 583.5 (99.1)	クロダイ 1,101.8 (99.8)
		甲殻類		サメハダヘイケガニ 5.3 (0.9)	サメハダヘイケガニ 2.7 (0.2)

注：1. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。

2. 主要種は各調査点の各分類群で上位5種のを示す。

3. 個体数の平均値は小数点以下を四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある。

陸 域 調 査 結 果

表 1 - 13 監視結果総括

(泉大津基地 令和7年2月調査結果)

測 定 点				A	B	C
交通量 (8:00～ 18:00)	調 査 日			2月14日	2月14日	2月14日
	総交通量	最 大 時 間 交 通 量	(台)	3,186	912	396
		最 小 時 間 交 通 量		1,927	602	252
		総 交 通 量		23,789	7,563	3,270
	廃棄物 車 数	最 大 時 間 交 通 量	(台)	2	2	0
		最 小 時 間 交 通 量		0	0	0
		総 交 通 量		5	3	0
廃 棄 物 車 混 入 率			(%)	0.0	0.0	0.0
騒音・振動 (8:00～ 18:00)	調 査 日			—	—	—
	騒音 (L_{Aeq})	一 時 間 値	(dB)	—	—	—
		時 間 平 均 値		—	—	—
	騒音 (L_{A50})	一 時 間 値		—	—	—
		時 間 平 均 値		—	—	—
	振動 (L_{10})	一 時 間 値		—	—	—
		時 間 平 均 値		—	—	—
大 気 質	調 査 日			2月14日～20日	2月14日～20日	—
	二酸化 硫 黄	日平均値	(ppm)	0.002～0.004	0.003～0.006	—
		期間平均値		0.003	0.004	—
		日平均値が0.04ppmを超えた日数	(日)	0	0	—
		1時間値が0.1ppmを超えた時間数	(時間)	0	0	—
	二酸化 窒 素	日平均値	(ppm)	0.013～0.028	0.010～0.020	—
		期間平均値		0.020	0.014	—
		日平均値が0.04ppm以上、0.06ppm以下の日数	(日)	0	0	—
		日平均値が0.06ppmを超えた日数		0	0	—
	浮遊粒子 状 物 質	日平均値	(mg/m ³)	0.004～0.024	0.007～0.019	—
		期間平均値		0.012	0.012	—
		日平均値が0.1mg/m ³ を超えた日数	(日)	0	0	—
		1時間値が0.2mg/m ³ を超えた時間数	(時間)	0	0	—
	風 速	日平均値	(m/s)	1.0～3.9	0.6～1.5	—
		期間平均値		2.1	1.0	—
	風 向	最多風向	16方位	W	SW	—

表 1 - 14 交通量調査結果

(泉大津基地周辺 令和7年2月結果)

測定点	測定 年月日	測定 時刻	交通条件								騒音レベル (dB)				振動レベル (dB)			主な 騒音源
			総交通量 注1)				廃棄物車数 (台)		廃棄物車 混入率 (%)									
			大型車	大型車 以外	合計	大型車 混入率 (%)	全車両	大型車 以外	廃棄物 車/ 全車両	注2)	LA5	LA50	LA95	LAeq	L10	L50	L90	
A 注3)	令和7年 2月14日	8:00	510	2,064	2,574	19.8	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	847	1,392	2,239	37.8	1	0	0.0	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	1,100	1,128	2,228	49.4	2	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	1,098	1,296	2,394	45.9	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	942	1,164	2,106	44.7	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	805	1,122	1,927	41.8	1	0	0.1	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	1,080	1,482	2,562	42.2	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	943	1,314	2,257	41.8	1	0	0.0	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	642	1,674	2,316	27.7	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		17:00	426	2,760	3,186	13.4	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	8,393	15,396	23,789	—	5	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	839	1,540	2,379	35.3	0.5	0	0.0	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	
B 注3)	令和7年 2月14日	8:00	176	426	602	29.2	2	0	0.3	1.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	403	324	727	55.4	1	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	384	288	672	57.1	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	462	252	714	64.7	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	444	246	690	64.3	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	384	396	780	49.2	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	468	414	882	53.1	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	360	414	774	46.5	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	318	492	810	39.3	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		17:00	210	702	912	23.0	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	3,609	3,954	7,563	—	3	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	361	395	756	47.7	0.3	0	0.0	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	
C 注4)	令和7年 2月14日	8:00	102	162	264	38.6	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	192	132	324	59.3	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	174	114	288	60.4	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	168	156	324	51.9	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	108	210	318	34.0	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	168	156	324	51.9	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	168	228	396	42.4	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	198	198	396	50.0	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	108	144	252	42.9	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		17:00	72	312	384	18.8	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	1,458	1,812	3,270	—	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	146	181	327	44.6	0.0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	

- 注:1) 総交通量は1時間値に補正したもの（一般車：10分間値×6 ＋ 廃棄物車：1時間値）を示し、廃棄物車数は1時間の全交通量を示す。
 :2) 総交通量（大型車）に占める廃棄物車（大型車）の混入率を示す。
 :3) 測定点A、Bの廃棄物車数については、堺基地への搬入車両を含む。
 :4) 令和3年3月末で廃棄物及び浚渫土砂の受入を終了していることから、測定点Cにおける廃棄物車数は陸上残土運搬車数のみを指す。

大気質調査結果

表 1－15 二酸化硫黄測定結果 （令和7年2月14日～2月20日）

測 定 点		A		B	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	2月14日（金）	0.003	0.005	0.004	0.006
	2月15日（土）	0.003	0.006	0.004	0.006
	2月16日（日）	0.004	0.008	0.006	0.010
	2月17日（月）	0.003	0.004	0.004	0.006
	2月18日（火）	0.002	0.004	0.003	0.005
	2月19日（水）	0.002	0.003	0.003	0.004
	2月20日（木）	0.002	0.004	0.003	0.006
有 効 測 定 日 数（日）		7		7	
測 定 時 間（時間）		168		168	
期 間 平 均 値（ppm）		0.003		0.004	
日 平 均 値 の 最 高 値（ppm）		0.004		0.006	
1 時 間 値 の 最 高 値（ppm）		0.008		0.010	
1 時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm を 超 え た 日 数（日）		0		0	

表 1－16 二酸化窒素測定結果 （令和7年2月14日～2月20日）

測 定 点		A		B	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	2月14日（金）	0.028	0.044	0.017	0.034
	2月15日（土）	0.028	0.053	0.020	0.036
	2月16日（日）	0.018	0.031	0.013	0.026
	2月17日（月）	0.017	0.045	0.010	0.021
	2月18日（火）	0.013	0.023	0.011	0.025
	2月19日（水）	0.019	0.028	0.013	0.022
	2月20日（木）	0.021	0.047	0.012	0.025
有 効 測 定 日 数（日）		7		7	
測 定 時 間（時間）		168		168	
期 間 平 均 値（ppm）		0.020		0.014	
日 平 均 値 の 最 高 値（ppm）		0.028		0.020	
1 時 間 値 の 最 高 値（ppm）		0.053		0.036	
1 時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）		0		0	
1 時間値が0.1ppm以上、0.2ppm以下の時間数（時間）		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm 以上、0.06ppm 以下の日数（日）		0		0	
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数（日）		0		0	

表 1-17 一酸化窒素測定結果 (令和7年2月14日～2月20日)

(泉大津基地 令和7年2月調査結果)

測 定 点		A		B	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	2月14日 (金)	0.033	0.114	0.007	0.027
	2月15日 (土)	0.030	0.141	0.011	0.038
	2月16日 (日)	0.007	0.013	0.004	0.006
	2月17日 (月)	0.014	0.065	0.004	0.008
	2月18日 (火)	0.009	0.024	0.007	0.023
	2月19日 (水)	0.014	0.036	0.008	0.023
	2月20日 (木)	0.019	0.109	0.005	0.011
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.018		0.007	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.033		0.011	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.141		0.038	

表 1-18 窒素酸化物(NO+NO₂)測定結果 (令和7年2月14日～2月20日)

(泉大津基地 令和7年2月調査結果)

測 定 点		A			B		
項 目		日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ /NO _x (%)		(ppm)	NO ₂ /NO _x (%)	
日 別 値	2月14日 (金)	0.061	46.5	0.158	0.024	71.3	0.056
	2月15日 (土)	0.058	47.6	0.194	0.032	64.9	0.071
	2月16日 (日)	0.025	73.0	0.039	0.017	76.3	0.031
	2月17日 (月)	0.031	55.0	0.110	0.015	70.7	0.028
	2月18日 (火)	0.022	59.0	0.047	0.017	61.8	0.048
	2月19日 (水)	0.033	56.7	0.064	0.021	63.4	0.045
	2月20日 (木)	0.039	53.0	0.156	0.018	69.6	0.034
有 効 測 定 日 数 (日)		7			7		
測 定 時 間 (時間)		168			168		
期 間 平 均 値 (ppm)		0.038			0.020		
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.061			0.032		
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.194			0.071		
NO ₂ /(NO+NO ₂) (%)		53.4			67.9		

表 1－19 浮遊粒子状物質測定結果（令和7年2月14日～2月20日）

(泉大津基地 令和7年2月調査結果)

測 定 点		A		B	
項 目		日平均値 (mg/m ³)	1 時間値の 最高値 (mg/m ³)	日平均値 (mg/m ³)	1 時間値の 最高値 (mg/m ³)
日 別 値	2月14日（金）	0.015	0.037	0.014	0.023
	2月15日（土）	0.013	0.026	0.015	0.034
	2月16日（日）	0.024	0.047	0.019	0.031
	2月17日（月）	0.017	0.033	0.014	0.030
	2月18日（火）	0.007	0.016	0.009	0.031
	2月19日（水）	0.007	0.014	0.007	0.009
	2月20日（木）	0.004	0.014	0.008	0.031
有効測定日数（日）		7		7	
測定時間（時間）		168		168	
期間平均値 (mg/m ³)		0.012		0.012	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.024		0.019	
1 時間値の最高値 (mg/m ³)		0.047		0.034	
1 時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）		0		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）		0		0	

表 1－20 風向・風速観測結果（令和7年2月14日～2月20日）

(泉大津基地 令和7年2月調査結果)

測 定 点		A				B				天候
項 目		風速			最多 風向 (16方 位)	風速			最多 風向 (16方 位)	
		平均 風速 (m/s)	最大風速			平均 風速 (m/s)	最大風速			
			風速 (m/s)	風向 (16方 位)			風速 (m/s)	風向 (16方 位)		
日 別 値	2月14日（金）	1.2	3.0	WSW	W	0.8	1.6	SW	S	晴
	2月15日（土）	1.0	2.3	E	E	0.8	2.1	NNW	NNW	晴後一時曇
	2月16日（日）	1.2	3.1	W	WSW	0.6	2.1	NNW	SW	薄曇一時晴
	2月17日（月）	3.9	6.5	W	W	1.5	2.9	NNW	SW	晴時々曇一時雨
	2月18日（火）	3.3	4.4	W	W	1.3	2.1	NNW	N	晴時々曇一時雪、雷を伴う
	2月19日（水）	2.5	4.3	W	W	1.2	2.6	NNW	NNW	晴時々曇一時雪
	2月20日（木）	2.0	3.8	WSW	W	1.1	1.9	SW	SSW	晴後曇時々雪
有効測定日数（日）		7			7	7			7	
測定時間（時間）		168			168	168			168	
期間平均風速（m/s）		2.1			—	1.0			—	
期間最大風速（m/s）		6.5			—	2.9			—	
期間最多風向（16方位）		—			W	—			SW	

注 1）最多風向は、気象庁の気象観測統計指針に基づいて求めた。

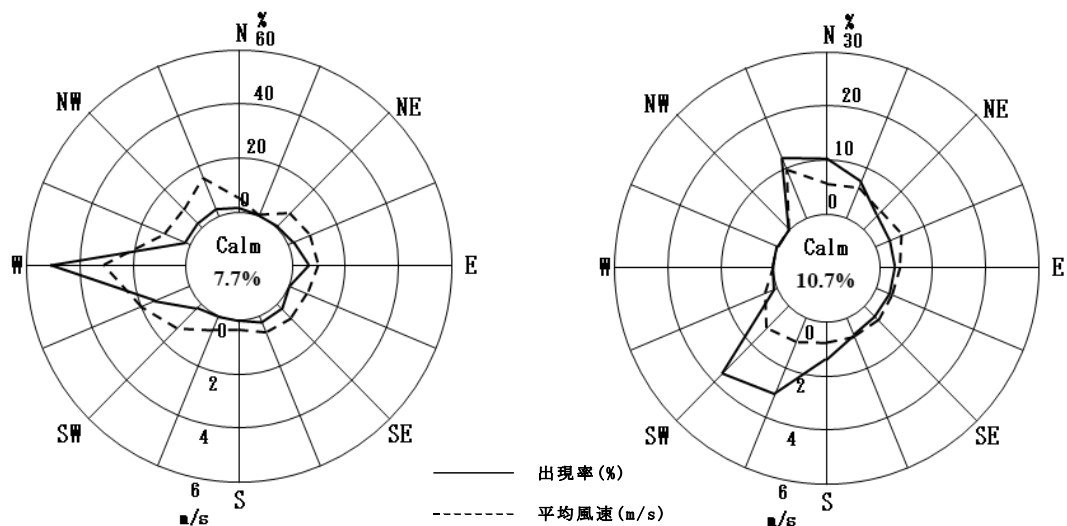
2）表中の天候は、大阪管区気象台の観測結果（昼：6:00～18:00）から引用した。

表 1－21 風向別出現頻度及び風向別平均風速 (令和7年2月14日～2月20日)

(泉大津基地 令和7年2月調査結果)

測定点		A			B		
項目		出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)	出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)
風 向	N	2	1.2	0.5	17	10.1	1.1
	NNE	—	—	—	12	7.1	1.2
	NE	1	0.6	0.7	6	3.6	0.9
	ENE	4	2.4	0.9	5	3.0	1.1
	E	11	6.5	1.0	5	3.0	0.8
	ESE	1	0.6	0.8	5	3.0	0.7
	SE	5	3.0	0.8	5	3.0	0.8
	SSE	5	3.0	0.7	6	3.6	0.8
	S	1	0.6	0.4	12	7.1	0.8
	SSW	1	0.6	0.6	26	15.5	1.0
	SW	4	2.4	1.3	30	17.9	1.2
	WSW	24	14.3	2.0	1	0.6	0.5
	W	86	51.2	3.1	—	—	—
	WNW	3	1.8	1.0	—	—	—
	NW	3	1.8	0.9	—	—	—
	NNW	4	2.4	1.5	20	11.9	1.9
calm		13	7.7	0.2	18	10.7	0.2
total		168	100.0	2.1	168	100.0	1.0

注) calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

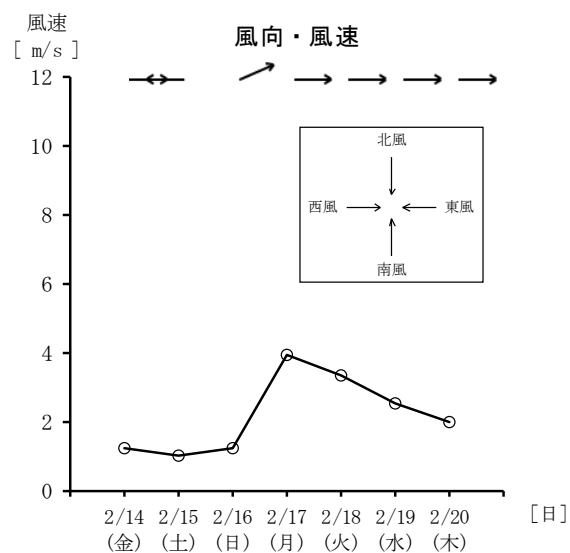
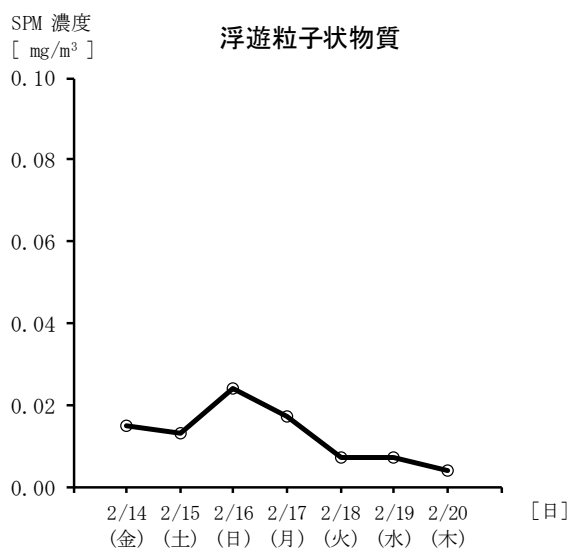
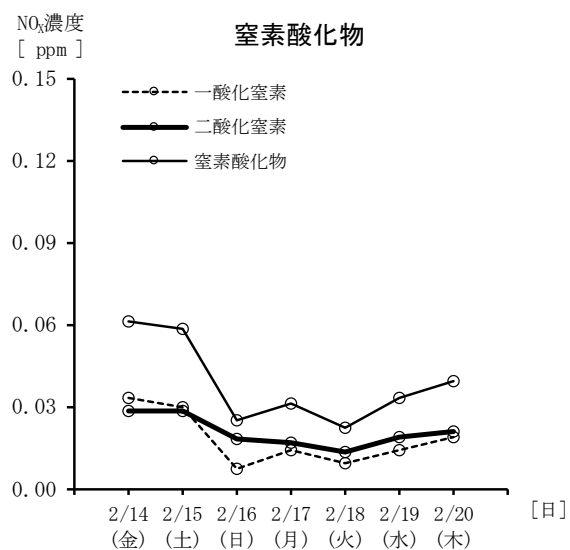
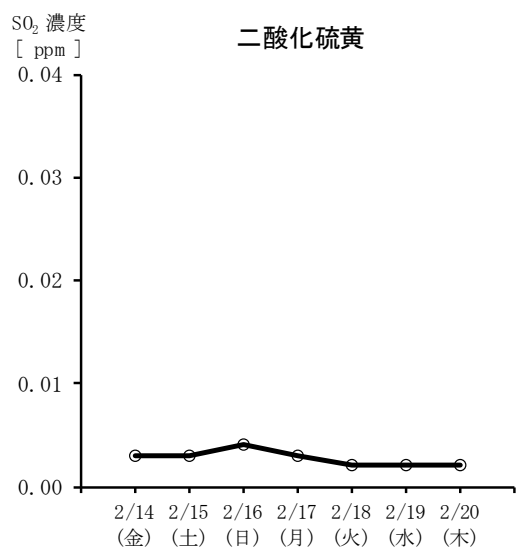


注) calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

測定点 A

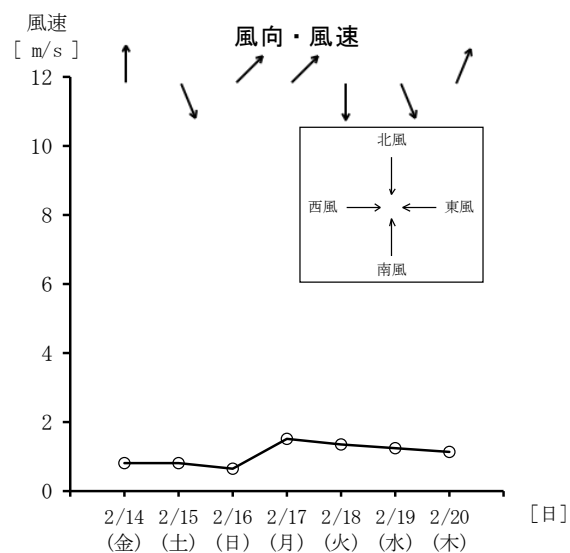
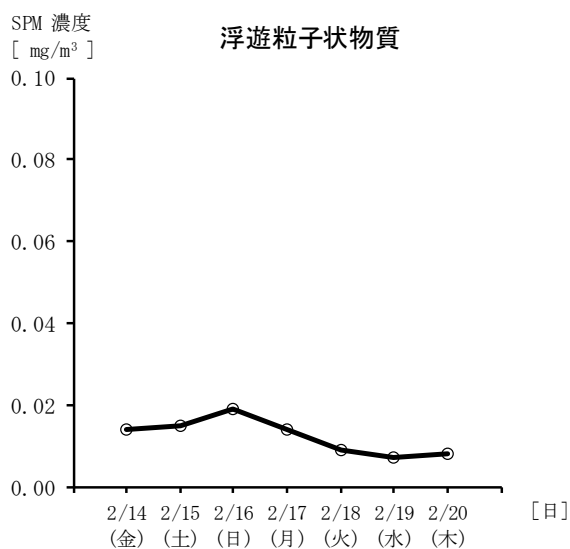
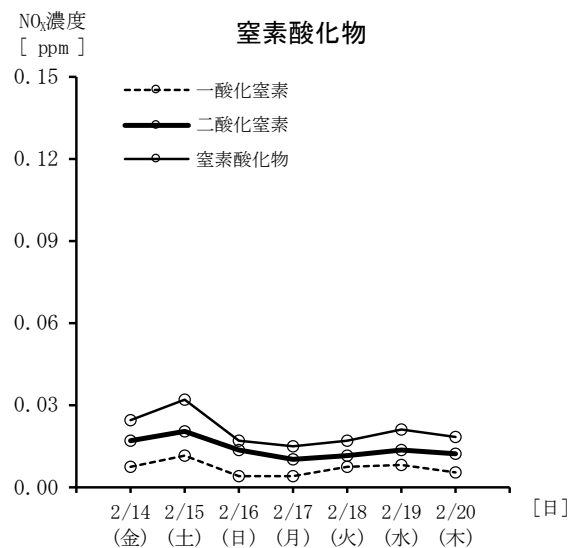
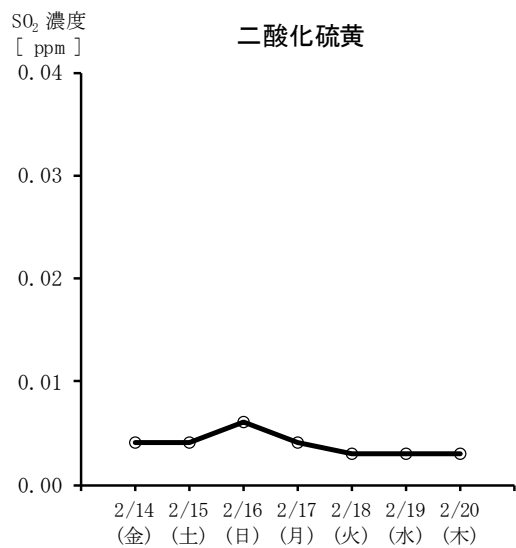
測定点 B

図 1－3 風配図と風向別平均風速 (令和7年2月14日～2月20日)



測定点 A

図 1 - 4 大気質・気象日平均値変化図 (令和7年2月14日～2月20日)



測定点 B

図 1 - 5 大気質・気象日平均値変化図 (令和7年2月14日～2月20日)

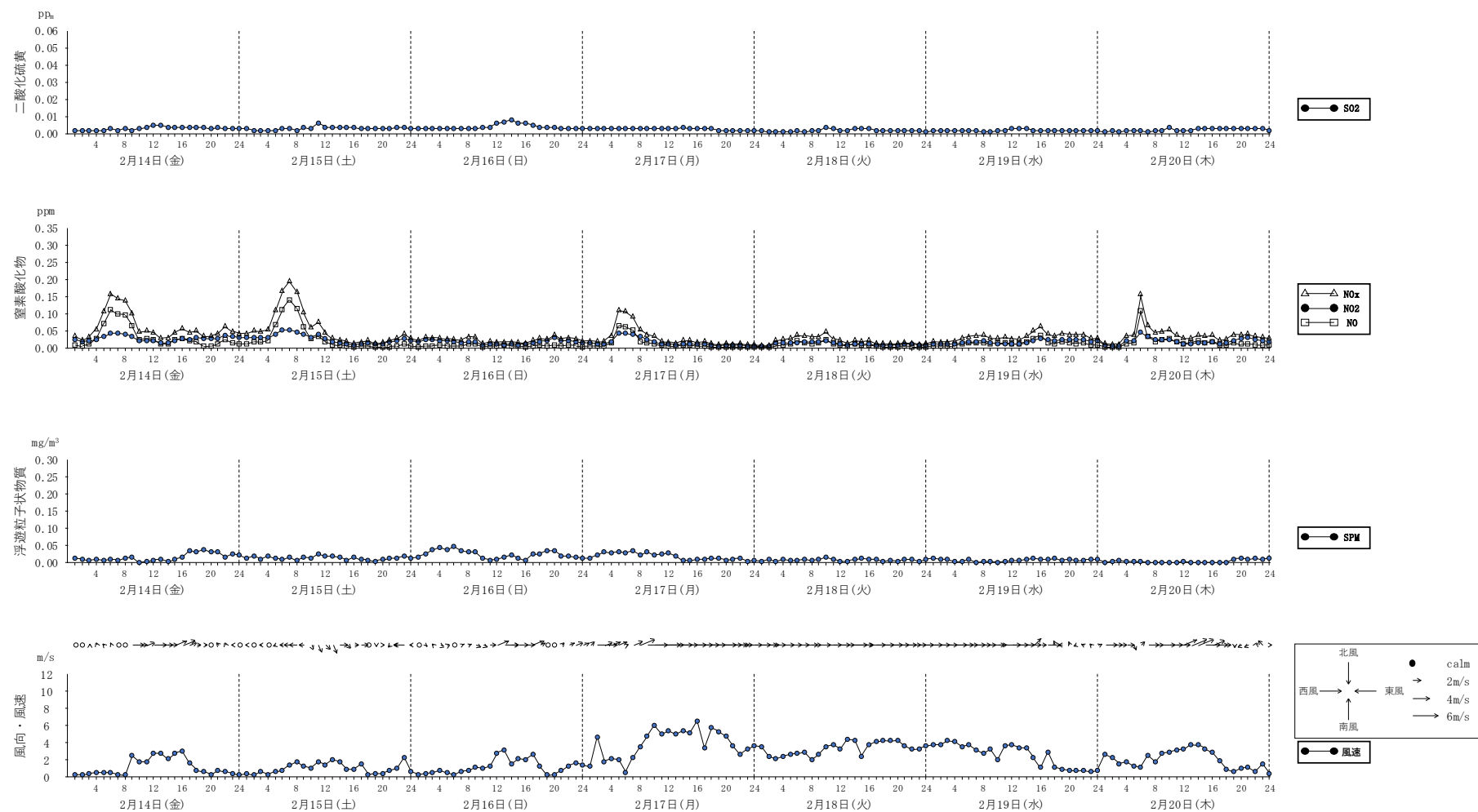


図 1 - 6 大気質・気象時系列変化図 (令和7年2月14日～2月20日) 測定点 A

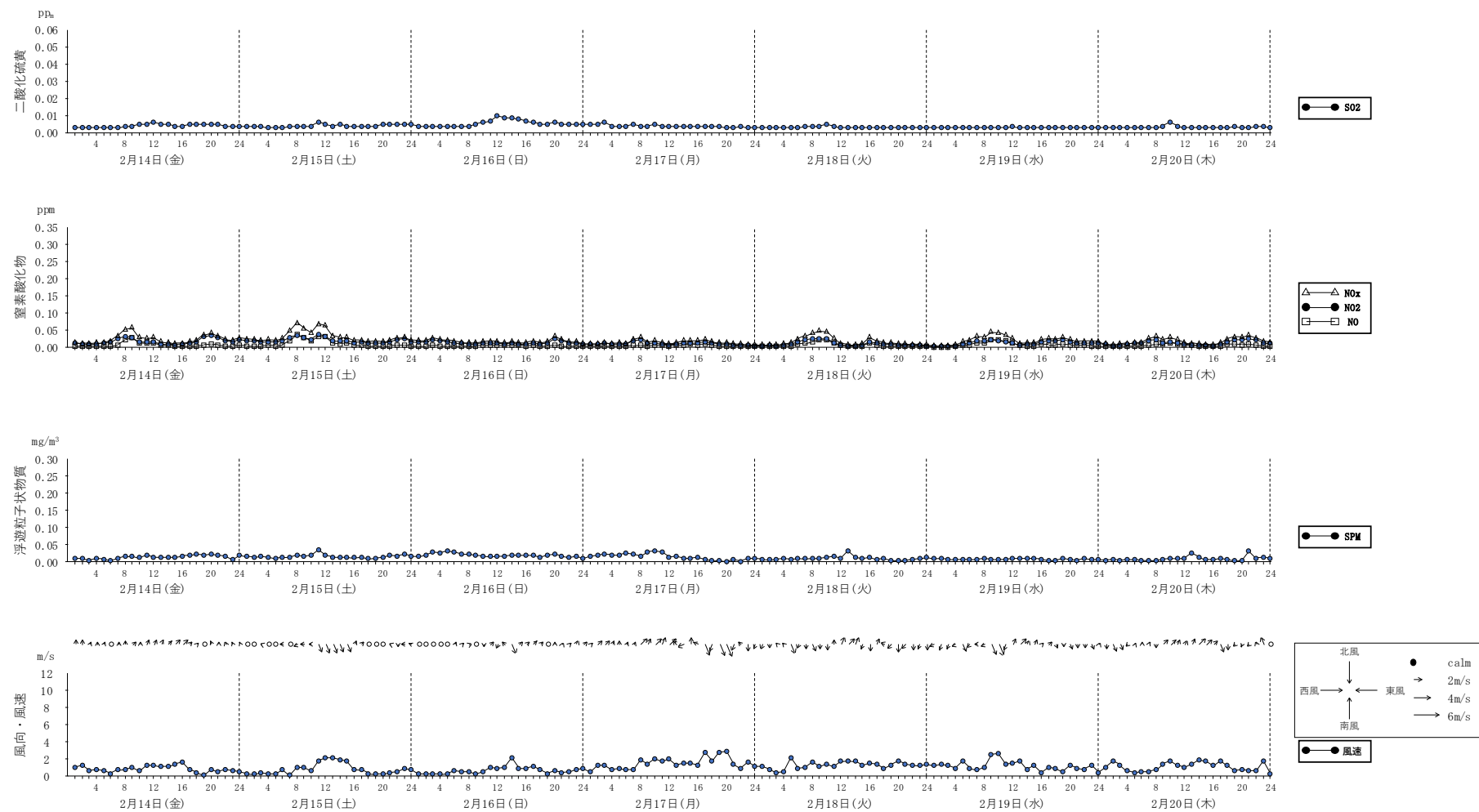


図 1 - 7 大気質・気象時系列変化図 (令和7年2月14日～2月20日) 測定点 B

表 1－22 発生ガス調査結果

(泉大津基地)

項 目	調 査 地 点	F－1	F－2
	測 定 日	令和7年2月5日	
	調 査 時 刻	11:45	10:55
	天 候	曇	曇
	風向(16方位)	西	西
	風速(m/s)	9.1	5.2
	気温(℃)	4.5	3.5
	湿度(%)	57	79
	地中温度(℃)	6.6	6.2
	流量 (cm ³ /分)	<10	<10
メタン (ppm)	発生ガス	3.0	2.0
	大気環境	3.0	4.0

大 阪 基 地

Ⅱ 大阪基地

1 環境監視結果の概要

1.1 環境監視の実施状況

環境監視計画に基づく令和7年2月の環境監視の実施状況は次表のとおりである。

なお、調査地点位置については図2-1に示す。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	調査内容	実施日時
交通量	総交通量(2車種分類 ^{注)})	No. 1 No. 2	3 地点	10時間 (毎正時10分間)	2月3日 8時～18時
	廃棄物車数(2車種分類 ^{注)})	No. 4		10時間 (連続)	
大気質	二酸化硫黄、 一酸化窒素、 二酸化窒素、 浮遊粒子状物質、 風向・風速	No. 2 No. 3	2 地点	1 週間 (連続)	2月1日 0時30分～ 2月7日 0時30分

注) 2車種分類とは、総交通量、廃棄物車とも大型車と大型車以外の2種とする。

1.2 環境監視の結果

交通量及び大気質の監視結果については、総括を表2-1に、各測定・調査項目ごとの結果を表2-2～表2-9及び図2-2～図2-6に示す。

(1) 交通量 (表2-1、表2-2)

ア) 大阪池田線沿道の測定点 (No. 1)

時間交通量は 915～1,338台、廃棄物車の時間交通量は 0～5台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 24台/10hrで、総交通量(11,718台/10hr)に占める割合は 0.2%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

イ) 大阪池田線沿道の測定点 (No. 2)

時間交通量は 954～1,202台、廃棄物車の時間交通量は 0～2台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 6台/10hrで、総交通量(10,860台/10hr)に占める割合は 0.1%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

ウ) 大阪基地近傍の測定点 (No. 4)

時間交通量は 98～220台、廃棄物車の時間交通量は 0～58台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 227台／10hrで、総交通量(1,607台／10hr)に占める割合は 14.1%であった。

(2) 大気質 (表 2－1、表 2－3～表 2－9)

7) 大阪池田線沿道の測定点 (No. 2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西であり、平均風速は 3.1m/secであった。

イ) 中島公園近傍の測定点 (No. 3)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西であり、平均風速は 3.7m/secであった。

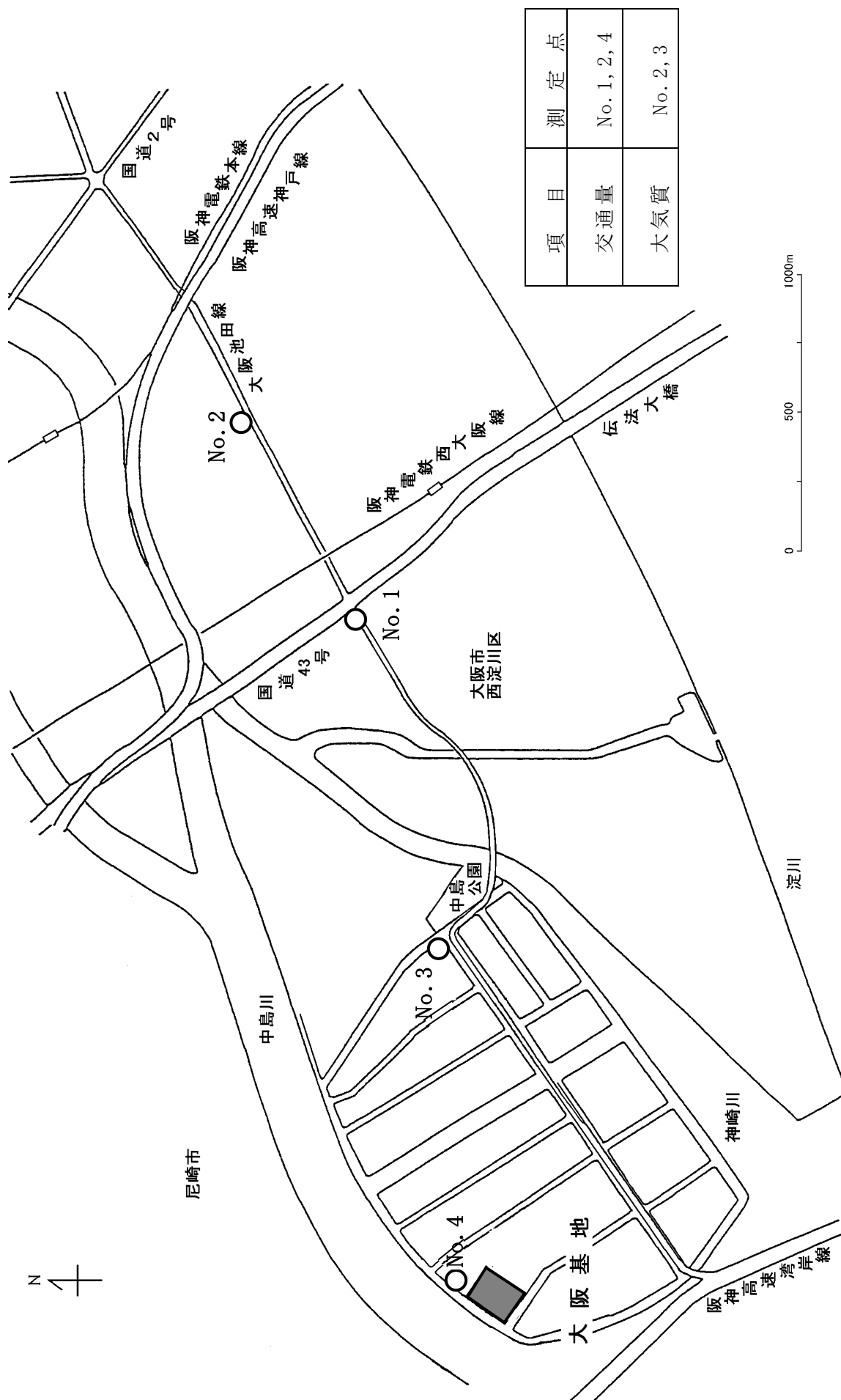


図 2 - 1 環境監視調査地点位置図(大阪基地)

2 環境監視結果

表 2－1 監視結果総括

				(大阪基地 令和7年2月調査結果)			
測 定 点				No. 1	No. 2	No. 3	No. 4
交通量 (8:00～ 18:00)	調 査 日			2月3日	2月3日	—	2月3日
	総交通量	最 大 時 間 交 通 量	(台)	1,338	1,202	—	220
		最 小 時 間 交 通 量		915	954	—	98
		総 交 通 量		11,718	10,860	—	1,607
	廃棄物 車 数	最 大 時 間 交 通 量	(台)	5	2	—	58
		最 小 時 間 交 通 量		0	0	—	0
		総 交 通 量		24	6	—	227
廃 棄 物 車 混 入 率			(%)	0.2	0.1	—	14.1
騒音・振動 (8:00～ 18:00)	調 査 日			—	—	—	—
	騒音 (L_{Aeq})	一 時 間 値	(dB)	—	—	—	—
		時 間 平 均 値		—	—	—	—
	騒音 (L_{A50})	一 時 間 値		—	—	—	—
		時 間 平 均 値		—	—	—	—
	振動 (L_{10})	一 時 間 値		—	—	—	—
		時 間 平 均 値		—	—	—	—
大 気 質	調 査 日			—	2月1日～7日	2月1日～7日	—
	二酸化 硫 黄	日平均値	(ppm)	—	0.000～0.002	0.003～0.004	—
		期間平均値		—	0.001	0.003	—
		日平均値が0.04ppmを超えた日数	(日)	—	0	0	—
		1時間値が0.1ppmを超えた時間数	(時間)	—	0	0	—
	二酸化 窒 素	日平均値	(ppm)	—	0.006～0.021	0.004～0.022	—
		期間平均値		—	0.012	0.013	—
		日平均値が0.04ppm以上、0.06ppm以下の日数	(日)	—	0	0	—
		日平均値が0.06ppmを超えた日数		—	0	0	—
	浮遊粒子 状 物 質	日平均値	(mg/m ³)	—	0.006～0.038	0.006～0.033	—
		期間平均値		—	0.012	0.012	—
		日平均値が0.1mg/m ³ を超えた日数	(日)	—	0	0	—
		1時間値が0.2mg/m ³ を超えた時間数	(時間)	—	0	0	—
	風 速	日平均値	(m/s)	—	1.0～4.6	1.2～5.5	—
		期間平均値		—	3.1	3.7	—
	風 向	最多風向	16方位	—	W	W	—

表 2 - 2 交通量調査結果

(大阪基地 令和7年2月結果)

測定点	測定 年月日	測定 時刻	交通条件								騒音レベル (dB)				振動レベル (dB)			主な 騒音源
			総交通量 注1)				廃棄物車数 (台)		廃棄物車 混入率 (%)									
			大型車	大型車 以外	合計	大型車 混入率 (%)	全車両	大型車 以外	廃棄物 車/全車 両	注2)	LA5	LA50	LA95	LAeq	L10	L50	L90	
No.1	令和7年 2月3日	8:00	414	774	1,188	34.8	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	760	487	1,247	60.9	5	1	0.4	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	782	390	1,172	66.7	2	0	0.2	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	645	474	1,119	57.6	3	0	0.3	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	663	396	1,059	62.6	3	0	0.3	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	525	390	915	57.4	3	0	0.3	0.6	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	706	546	1,252	56.4	4	0	0.3	0.6	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	645	534	1,179	54.7	3	0	0.3	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	577	672	1,249	46.2	1	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
	17:00	354	984	1,338	26.5	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計		6,071	5,647	11,718	—	24	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
平均		607	565	1,172	51.8	2.4	0.1	0.2	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2	令和7年 2月3日	8:00	276	786	1,062	26.0	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	421	648	1,069	39.4	1	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	372	582	954	39.0	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	475	726	1,201	39.6	1	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	306	654	960	31.9	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	355	738	1,093	32.5	1	0	0.1	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	392	810	1,202	32.6	2	0	0.2	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	409	732	1,141	35.8	1	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	264	732	996	26.5	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	17:00	120	1,062	1,182	10.2	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計		3,390	7,470	10,860	—	6	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
平均		339	747	1,086	31.2	0.6	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.3	令和7年 2月3日	8:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	17:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
平均		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.4	令和7年 2月3日	8:00	36	157	193	18.7	7	1	3.6	16.7	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	62	120	182	34.1	32	0	17.6	51.6	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	112	42	154	72.7	58	0	37.7	51.8	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	82	43	125	65.6	41	1	32.8	48.8	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	96	60	156	61.5	24	0	15.4	25.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	73	84	157	46.5	25	0	15.9	34.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	52	66	118	44.1	16	0	13.6	30.8	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	56	164	220	25.5	22	2	10.0	35.7	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	38	60	98	38.8	2	0	2.0	5.3	—	—	—	—	—	—	—	—
	17:00	12	192	204	5.9	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計		619	988	1,607	—	227	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
平均		62	99	161	38.5	22.7	0.4	14.1	36.0	—	—	—	—	—	—	—	—	

注:1) 総交通量は1時間値に補正したもの(一般車:10分間値×6 + 廃棄物車:1時間値)を示し、廃棄物車数は1時間の全交通量を示す。

:2) 総交通量(大型車)に占める廃棄物車(大型車)の混入率を示す。

大気質調査結果

表 2－3 二酸化硫黄測定結果 （令和7年2月1日～2月7日）

（大阪基地 令和7年2月調査結果）

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	2月1日（土）	0.001	0.002	0.003	0.005
	2月2日（日）	0.000	0.001	0.003	0.003
	2月3日（月）	0.001	0.002	0.004	0.009
	2月4日（火）	0.001	0.003	0.003	0.004
	2月5日（水）	0.001	0.003	0.003	0.004
	2月6日（木）	0.002	0.003	0.003	0.004
	2月7日（金）	0.002	0.003	0.003	0.004
有 効 測 定 日 数（日）		7		7	
測 定 時 間（時間）		168		168	
期 間 平 均 値（ppm）		0.001		0.003	
日 平 均 値 の 最 高 値（ppm）		0.002		0.004	
1 時 間 値 の 最 高 値（ppm）		0.003		0.009	
1 時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm を 超 え た 日 数（日）		0		0	

表 2－4 二酸化窒素測定結果 （令和7年2月1日～2月7日）

（大阪基地 令和7年2月調査結果）

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	2月1日（土）	0.021	0.039	0.022	0.046
	2月2日（日）	0.006	0.010	0.004	0.008
	2月3日（月）	0.017	0.039	0.019	0.043
	2月4日（火）	0.010	0.016	0.009	0.016
	2月5日（水）	0.009	0.021	0.009	0.020
	2月6日（木）	0.012	0.030	0.012	0.026
	2月7日（金）	0.012	0.026	0.013	0.027
有 効 測 定 日 数（日）		7		7	
測 定 時 間（時間）		168		168	
期 間 平 均 値（ppm）		0.012		0.013	
日 平 均 値 の 最 高 値（ppm）		0.021		0.022	
1 時 間 値 の 最 高 値（ppm）		0.039		0.046	
1 時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）		0		0	
1 時間値が0.1ppm以上、0.2ppm以下の時間数（時間）		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm 以上、0.06ppm 以下の 日 数（日）		0		0	
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数（日）		0		0	

表 2 - 5 一酸化窒素測定結果 (令和7年2月1日～2月7日)

(大阪基地 令和7年2月調査結果)

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	2月1日 (土)	0.008	0.030	0.012	0.040
	2月2日 (日)	0.001	0.002	0.002	0.003
	2月3日 (月)	0.009	0.037	0.017	0.068
	2月4日 (火)	0.004	0.011	0.004	0.009
	2月5日 (水)	0.004	0.013	0.004	0.010
	2月6日 (木)	0.005	0.015	0.005	0.011
	2月7日 (金)	0.005	0.016	0.007	0.025
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.005		0.007	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.009		0.017	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.037		0.068	

表 2 - 6 窒素酸化物(NO+NO₂)測定結果 (令和7年2月1日～2月7日)

(大阪基地 令和7年2月調査結果)

測 定 点		No. 2			No. 3		
項 目		日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ /NO _x (%)		(ppm)	NO ₂ /NO _x (%)	
日 別 値	2月1日 (土)	0.029	73.0	0.067	0.034	65.3	0.082
	2月2日 (日)	0.007	85.5	0.011	0.006	73.8	0.011
	2月3日 (月)	0.025	66.0	0.076	0.036	52.7	0.111
	2月4日 (火)	0.014	70.3	0.027	0.012	68.8	0.023
	2月5日 (水)	0.013	70.9	0.034	0.013	69.5	0.029
	2月6日 (木)	0.018	69.5	0.042	0.017	69.6	0.035
	2月7日 (金)	0.017	69.9	0.042	0.020	64.1	0.048
有 効 測 定 日 数 (日)		7			7		
測 定 時 間 (時間)		168			168		
期 間 平 均 値 (ppm)		0.018			0.020		
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.029			0.036		
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.076			0.111		
NO ₂ /(NO+NO ₂) (%)		70.8			63.5		

表 2－7 浮遊粒子状物質測定結果（令和7年2月1日～2月7日）

(大阪基地 令和7年2月調査結果)

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日平均値 (mg/m ³)	1 時間値の 最高値 (mg/m ³)	日平均値 (mg/m ³)	1 時間値の 最高値 (mg/m ³)
日 別 値	2月1日（土）	0.038	0.052	0.033	0.058
	2月2日（日）	0.009	0.022	0.007	0.025
	2月3日（月）	0.012	0.020	0.012	0.029
	2月4日（火）	0.006	0.015	0.008	0.017
	2月5日（水）	0.006	0.020	0.007	0.015
	2月6日（木）	0.006	0.017	0.008	0.016
	2月7日（金）	0.007	0.020	0.006	0.016
有効測定日数（日）		7		7	
測定時間（時間）		168		168	
期間平均値 (mg/m ³)		0.012		0.012	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.038		0.033	
1 時間値の最高値 (mg/m ³)		0.052		0.058	
1 時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）		0		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）		0		0	

表 2－8 風向・風速測定結果（令和7年2月1日～2月7日）

(大阪基地 令和7年2月調査結果)

測 定 点		No. 2				No. 3				天候
項 目		風速			最多 風向 (16方 位)	風速			最多 風向 (16方 位)	
		平均 風速 (m/s)	最大風速			平均 風速 (m/s)	最大風速			
			風速 (m/s)	風向 (16方位)			風速 (m/s)	風向 (16方位)		
日 別 値	2月1日 (土)	1.0	2.0	N, NNE	NNE	1.2	3.0	NE	NE	晴後曇一時雨 曇一時雨 曇 晴 晴 晴 晴後曇一時雪
	2月2日 (日)	2.0	3.0	N	N	2.5	4.0	ENE	ENE	
	2月3日 (月)	2.2	4.6	W	W	2.7	4.7	WSW	WSW	
	2月4日 (火)	4.6	6.4	WSW	W	5.1	6.9	WSW	WSW	
	2月5日 (水)	4.5	6.4	W	W	5.5	7.9	WSW	W	
	2月6日 (木)	4.0	5.6	WSW	W	4.6	7.0	WSW	W	
	2月7日 (金)	3.6	5.9	WSW	W	4.0	7.1	WSW	W	
有効測定日数 (日)		7			7	7			7	
測定時間 (時間)		168			168	168			168	
期間平均風速 (m/s)		3.1			—	3.7			—	
期間最大風速 (m/s)		6.4			—	7.9			—	
期間最多風向 (16方位)		—			W	—			W	

注 1) 最多風向は、気象庁の気象観測統計指針に基づいて求めた。

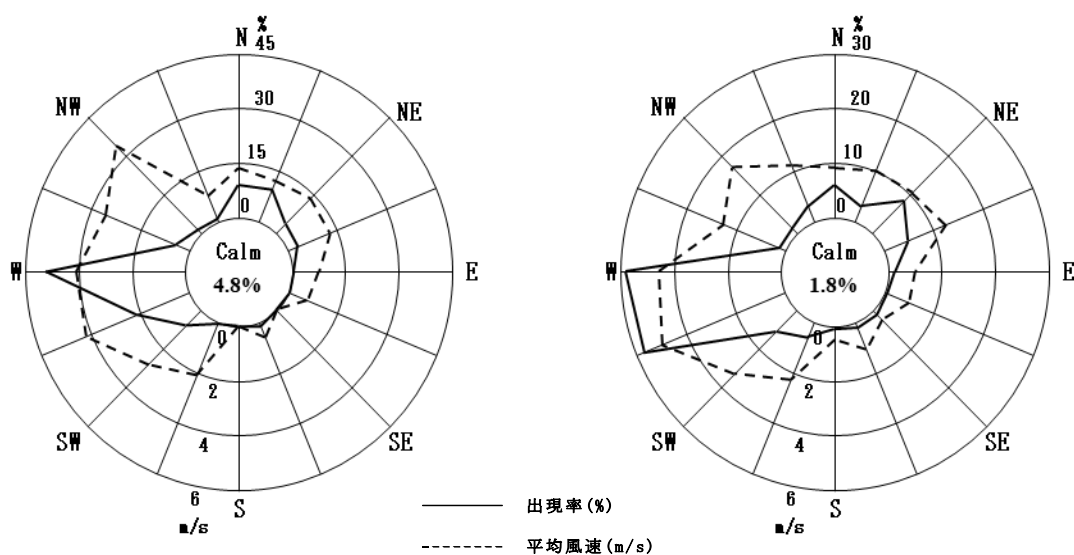
2) 表中の天候は、大阪管区気象台の観測結果（昼：6:00～18:00）から引用した。

表 2 - 9 風向別出現頻度及び風向別平均風速 (令和7年2月1日～2月7日)

(大阪基地 令和7年2月調査結果)

測定点		No.2			No.3		
項目		出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)	出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)
風 向	N	15	8.9	1.8	10	6.0	1.8
	NNE	16	9.5	1.6	5	3.0	2.0
	NE	6	3.6	1.8	14	8.3	2.1
	ENE	5	3.0	1.7	8	4.8	2.5
	E	1	0.6	1.0	2	1.2	1.0
	ESE	1	0.6	0.8	1	0.6	1.0
	SE	—	—	—	2	1.2	0.5
	SSE	2	1.2	0.6	2	1.2	1.1
	S	—	—	—	1	0.6	0.5
	SSW	1	0.6	2.1	5	3.0	2.3
	SW	10	6.0	2.8	9	5.4	3.3
	WSW	27	16.1	4.2	48	28.6	5.0
	W	66	39.3	4.1	49	29.2	4.6
	WNW	7	4.2	3.4	2	1.2	2.5
	NW	2	1.2	4.5	2	1.2	3.4
	NNW	1	0.6	1.0	5	3.0	2.2
calm		8	4.8	0.2	3	1.8	0.2
total		168	100.0	3.1	168	100.0	3.7

注) calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

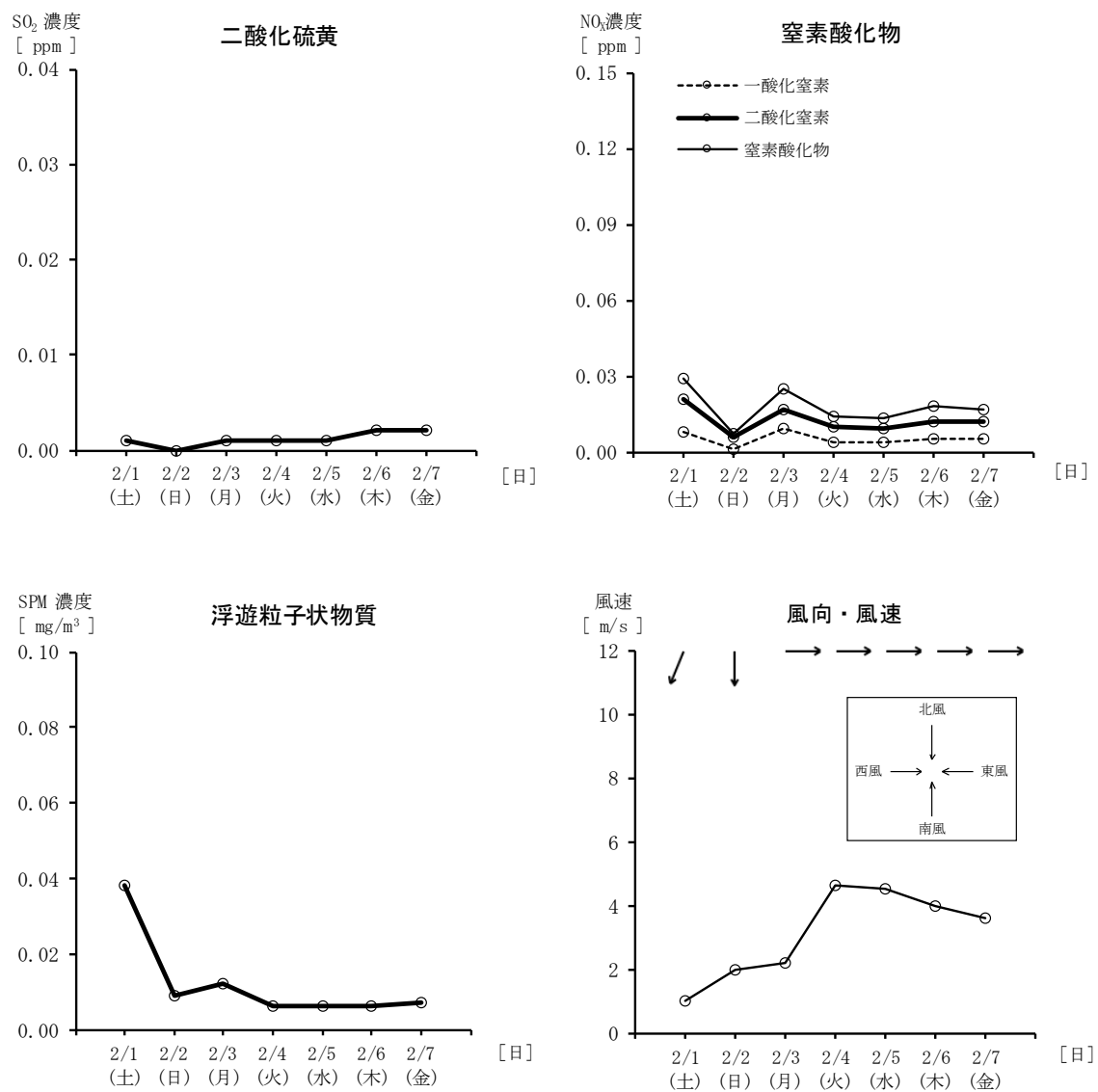


注) calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

測定点 No. 2

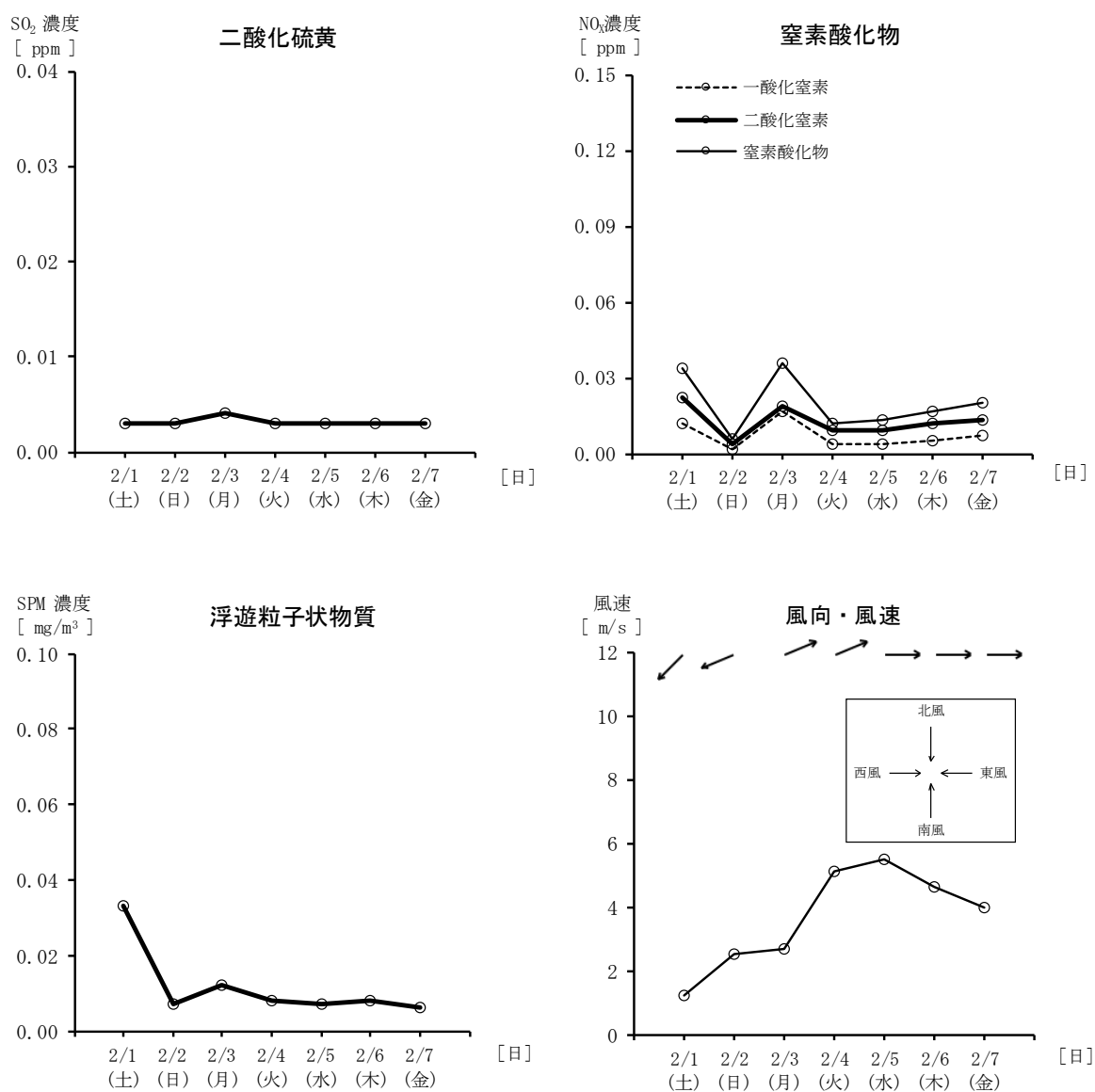
測定点 No. 3

図 2 - 2 風配図と風向別平均風速 (令和7年2月1日～2月7日)



測定点 No. 2

図 2 - 3 大気質・気象日平均値変化図 (令和7年2月1日～2月7日)



測定点 No. 3

図 2 - 4 大気質・気象日平均値変化図 (令和7年2月1日～2月7日)

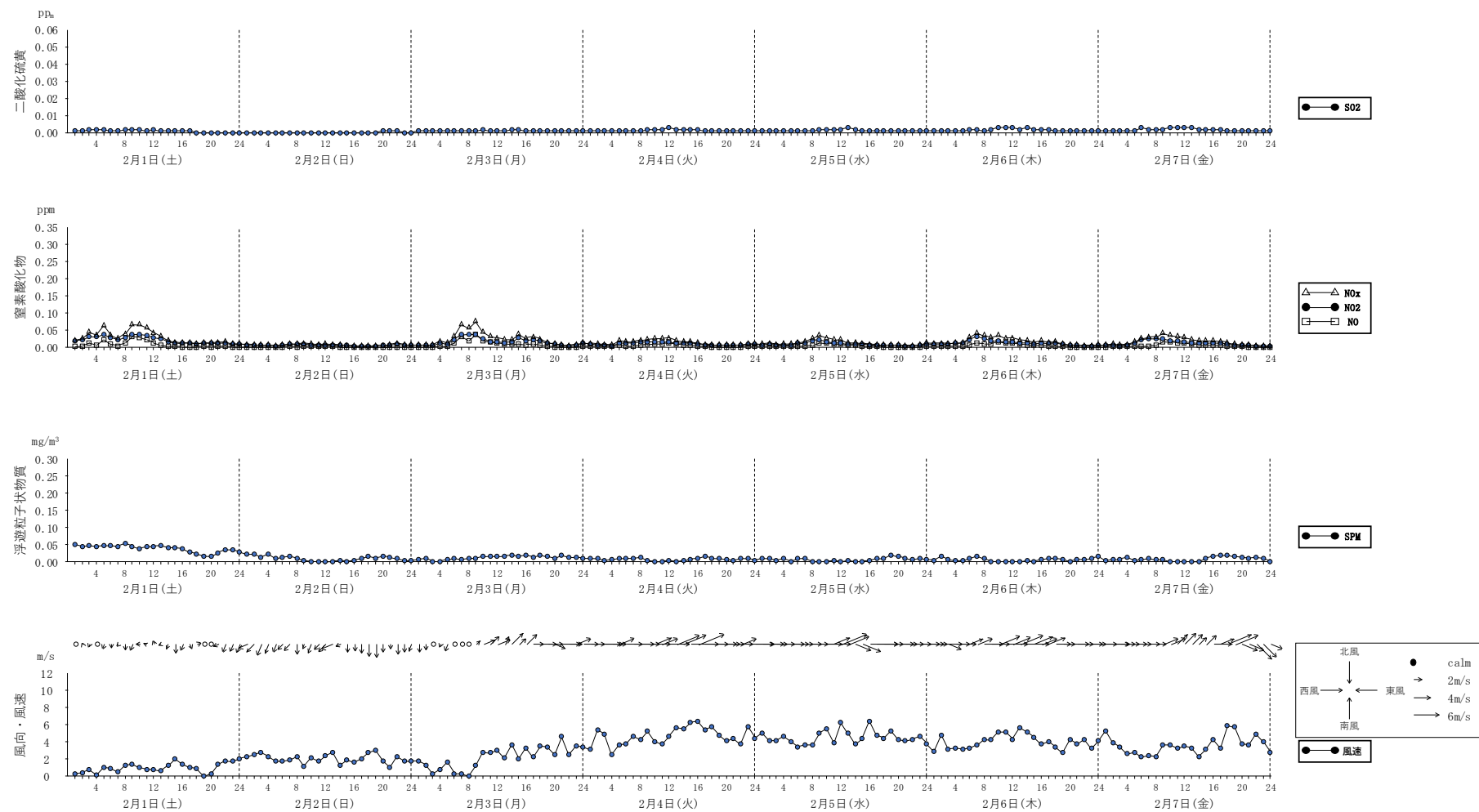


図 2 - 5 大気質・気象時系列変化図 (令和7年2月1日～2月7日) 測定点 No. 2

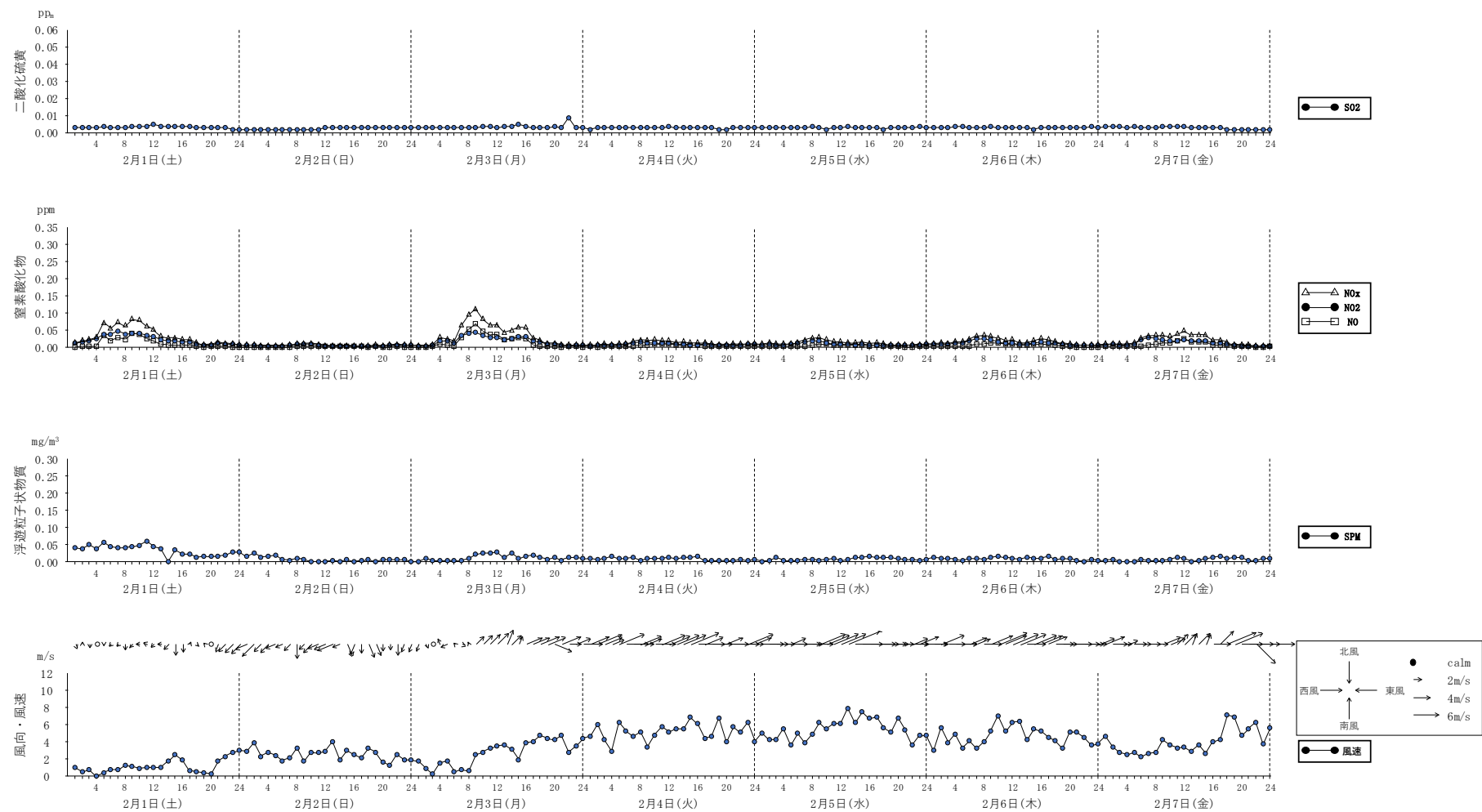


図 2 - 6 大気質・気象時系列変化図 (令和7年2月1日～2月7日) 測定点 No. 3

堺 基 地

Ⅲ 堺基地

1 環境監視結果の概要

1.1 環境監視の実施状況

環境監視計画に基づく令和7年2月の環境監視の実施状況は次表のとおりである。

なお、調査地点位置については図3-1に示す。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	調査内容	実施日
交通量	総交通量(2車種分類 ^{注1)})	No. 1 No. 2	4 地点	10時間 ^{注2)} (毎正時10分間)	2月13日 8時～18時 ^{注2)}
	廃棄物車数(2車種分類 ^{注1)})	No. 3 No. 4		10時間 ^{注2)} (連続)	
大気質	二酸化硫黄、 一酸化窒素、 二酸化窒素、 浮遊粒子状物質、 風向・風速	No. 1 ^{注3)} No. 2	2 地点	1 週間 (連続)	2月12日 0時30分～ 2月18日 0時30分

注1:2車種分類とは、総交通量、廃棄物とも大型車と大型車以外の2種とする。

注2:測定点No.4の交通量の調査時間については、堺基地入場門の閉鎖が17時45分であるため、8時から17時までの9時間とした。

注3:平成26年度から大気質No.1を変更した。

1.2 環境監視の結果

交通量及び大気質の監視結果については、総括を表3-1に、各測定・調査項目ごとの結果を表3-2～表3-9及び図3-2～図3-6に示す。

(1) 交通量（表3-1、表3-2）

ア) 大阪臨海線沿道の測定点（No.1）

時間交通量は 1,846～3,054台、廃棄物車の時間交通量は 0～8台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 22台/10hrで、総交通量(22,948台/10hr)に占める割合は 0.1%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

イ) 堺狭山線沿道の測定点（No.2）

時間交通量は 1,027～1,806台、廃棄物車の時間交通量は 0～2台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 6台/10hrで、総交通量(13,962台/10hr)に占める割合は 0.0%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

ウ) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. 3)

時間交通量は 1,590～3,288台、廃棄物車の時間交通量は 0～4台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 15台/10hrで、総交通量(21,327台/10hr)に占める割合は 0.1%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

エ) 堺基地近傍の測定点 (No. 4)

時間交通量は 0～50台、廃棄物車の時間交通量は 0～42台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 203台/9hrで、総交通量(245台/9hr)に占める割合は 82.9%であった。

(2) 大気質 (表 3-1、表 3-3～表 3-9)

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. 1)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は北西であり、平均風速は 1.3m/secであった。

イ) 堺狭山線沿道の測定点 (No. 2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は北北東であり、平均風速は 1.0m/secであった。

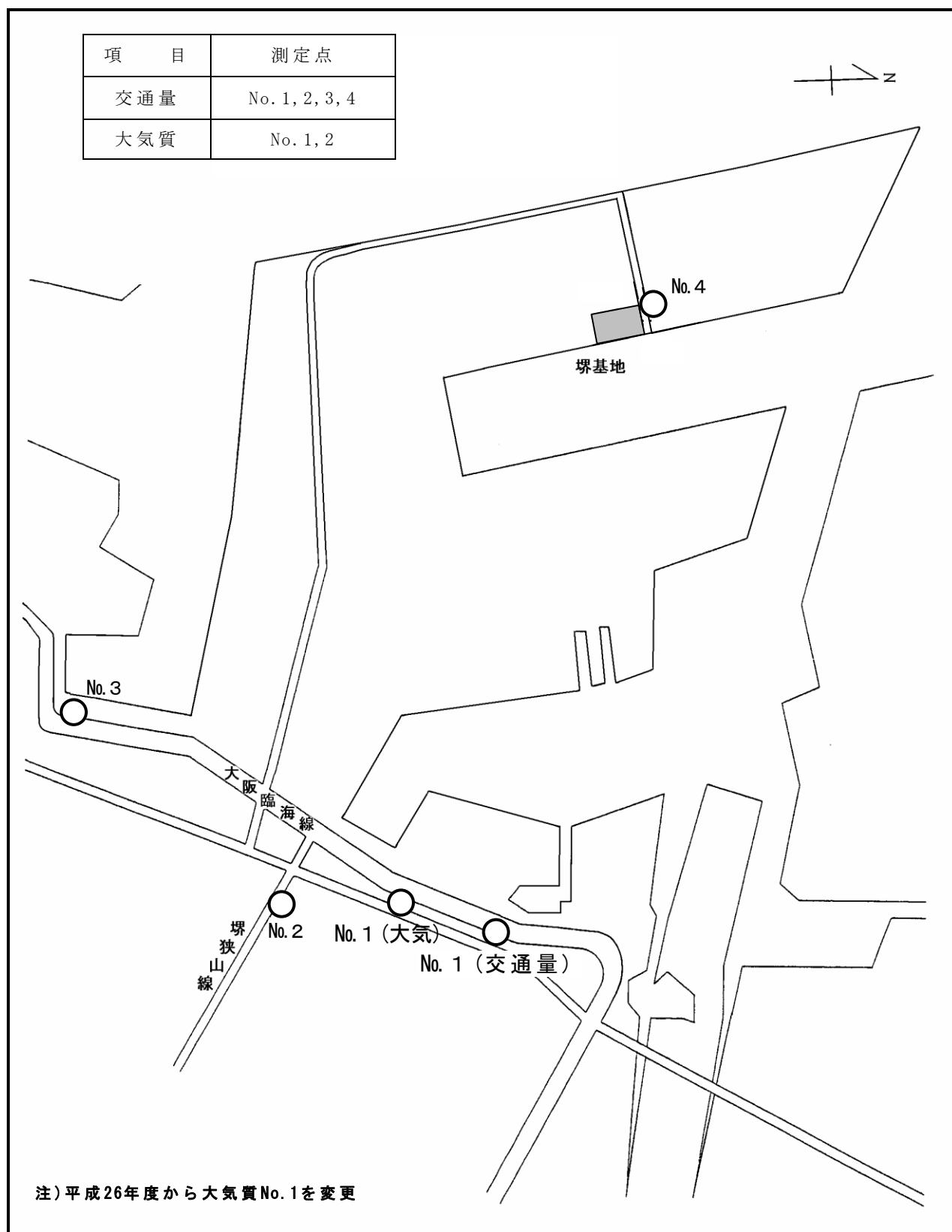


図 3 - 1 環境監視調査地点位置図 (堺基地)

2 環境監視結果

表 3－1 監視結果総括

				(堺基地 令和7年2月調査結果)			
測 定 点				No. 1	No. 2	No. 3	No. 4
交通量 (8:00～ 18:00)	調 査 日			2月13日	2月13日	2月13日	2月13日
	総交通量	最 大 時 間 交 通 量	(台)	3,054	1,806	3,288	50
		最 小 時 間 交 通 量		1,846	1,027	1,590	0
		総 交 通 量		22,948	13,962	21,327	245
	廃棄物 車 数	最 大 時 間 交 通 量	(台)	8	2	4	42
		最 小 時 間 交 通 量		0	0	0	0
		総 交 通 量		22	6	15	203
	廃 棄 物 車 混 入 率			(%)	0.1	0.0	0.1
騒音・振動 (8:00～ 18:00)	調 査 日			—	—	—	—
	騒音 (L_{Aeq})	一 時 間 値	(dB)	—	—	—	—
		時 間 平 均 値		—	—	—	—
	騒音 (L_{A50})	一 時 間 値		—	—	—	—
		時 間 平 均 値		—	—	—	—
	振動 (L_{10})	一 時 間 値		—	—	—	—
		時 間 平 均 値		—	—	—	—
大 気 質	調 査 日			2月12日～18日	2月12日～18日	—	—
	二酸化 硫 黄	日平均値	(ppm)	0.003 ～ 0.005	0.001 ～ 0.002	—	—
		期間平均値		0.004	0.002	—	—
		日平均値が0.04ppmを超えた日数	(日)	0	0	—	—
		1時間値が0.1ppmを超えた時間数	(時間)	0	0	—	—
	二酸化 窒 素	日平均値	(ppm)	0.019 ～ 0.035	0.017 ～ 0.033	—	—
		期間平均値		0.024	0.022	—	—
		日平均値が0.04ppm以上、0.06ppm以下の日数	(日)	0	0	—	—
		日平均値が0.06ppmを超えた日数		0	0	—	—
	浮遊粒子 状 物 質	日平均値	(mg/m ³)	0.006 ～ 0.027	0.004 ～ 0.026	—	—
		期間平均値		0.015	0.014	—	—
		日平均値が0.1mg/m ³ を超えた日数	(日)	0	0	—	—
		1時間値が0.2mg/m ³ を超えた時間数	(時間)	0	0	—	—
	風 速	日平均値	(m/s)	0.8 ～ 1.9	0.5 ～ 1.7	—	—
		期間平均値		1.3	1.0	—	—
	風 向	最多風向	16方位	NW	NNE	—	—

表 3 - 2 交通量調査結果

(堺基地周辺 令和7年2月結果)

測定点	測定 年月日	測定 時刻	交通条件								騒音レベル (dB)				振動レベル (dB)			主な 騒音源
			総交通量 注1)				廃棄物車数 (台)		廃棄物車 混入率 (%)									
			大型車	大型車 以外	合計	大型車 混入率 (%)	全車両	大型車 以外	廃棄物 車/全 車両	注2)	LA5	LA50	LA95	LAeq	L10	L50	L90	
No.1 注3)	令和7年 2月13日	8:00	570	1,638	2,208	25.8	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	1,172	1,098	2,270	51.6	8	0	0.4	0.7	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	1,406	1,236	2,642	53.2	2	0	0.1	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	1,122	1,164	2,286	49.1	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	1,017	918	1,935	52.6	3	0	0.2	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	826	1,020	1,846	44.7	4	0	0.2	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	1,270	1,038	2,308	55.0	4	0	0.2	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	751	1,260	2,011	37.3	1	0	0.0	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	810	1,578	2,388	33.9	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	17:00	444	2,610	3,054	14.5	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	合計	9,388	13,560	22,948	—	22	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	939	1,356	2,295	40.9	2.2	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2 注3)	令和7年 2月13日	8:00	259	768	1,027	25.2	1	0	0.1	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	403	834	1,237	32.6	1	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	457	1,002	1,459	31.3	1	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	457	756	1,213	37.7	1	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	390	1,038	1,428	27.3	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	398	972	1,370	29.1	2	0	0.1	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	534	846	1,380	38.7	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	486	1,320	1,806	26.9	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	312	942	1,254	24.9	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	17:00	276	1,512	1,788	15.4	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	合計	3,972	9,990	13,962	—	6	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	397	999	1,396	28.4	0.6	0	0.0	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.3 注3)	令和7年 2月13日	8:00	501	1,657	2,158	23.2	4	1	0.2	0.6	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	979	1,032	2,011	48.7	1	0	0.0	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	1,230	962	2,192	56.1	2	2	0.1	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	1,057	1,176	2,233	47.3	1	0	0.0	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	901	894	1,795	50.2	1	0	0.1	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	678	912	1,590	42.6	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	1,003	990	1,993	50.3	1	0	0.1	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	801	936	1,737	46.1	3	0	0.2	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	650	1,680	2,330	27.9	2	0	0.1	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—
	17:00	474	2,814	3,288	14.4	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	合計	8,274	13,053	21,327	—	15	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	827	1,305	2,133	38.8	1.5	0.3	0.1	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.4	令和7年 2月13日	8:00	13	18	31	41.9	13	0	41.9	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	41	7	48	85.4	42	1	87.5	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	36	14	50	72.0	38	2	76.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	28	2	30	93.3	30	2	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	14	3	17	82.4	17	3	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	25	9	34	73.5	28	3	82.4	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	13	2	15	86.7	15	2	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	18	2	20	90.0	20	2	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	0	0	0	—	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		17:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		合計	188	57	245	—	203	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	平均	21	6	27	76.7	22.6	1.7	82.9	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	

注:1) 総交通量は1時間値に補正したもの(一般車:10分間値×6 + 廃棄物車:1時間値)を示し、廃棄物車数は1時間の全交通量を示す。

:2) 総交通量(大型車)に占める廃棄物車(大型車)の混入率を示す。

:3) 測定点No.1、No.2、No.3の廃棄物車数については、泉大津基地への搬入車両を含む。

大気質調査結果

表 3－3 二酸化硫黄測定結果 （令和7年2月12日～2月18日）

（堺基地 令和7年2月調査結果）

測 定 点		No. 1		No. 2	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	2月12日（水）	0.003	0.005	0.001	0.002
	2月13日（木）	0.003	0.004	0.001	0.001
	2月14日（金）	0.005	0.010	0.002	0.006
	2月15日（土）	0.004	0.006	0.002	0.005
	2月16日（日）	0.005	0.010	0.002	0.007
	2月17日（月）	0.004	0.007	0.002	0.005
	2月18日（火）	0.004	0.005	0.002	0.005
有 効 測 定 日 数（日）		7		7	
測 定 時 間（時間）		168		168	
期 間 平 均 値（ppm）		0.004		0.002	
日 平 均 値 の 最 高 値（ppm）		0.005		0.002	
1 時 間 値 の 最 高 値（ppm）		0.010		0.007	
1 時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm を 超 え た 日 数（日）		0		0	

表 3－4 二酸化窒素測定結果 （令和7年2月12日～2月18日）

（堺基地 令和7年2月調査結果）

測 定 点		No. 1		No. 2	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	2月12日（水）	0.035	0.049	0.033	0.045
	2月13日（木）	0.021	0.036	0.017	0.031
	2月14日（金）	0.031	0.043	0.027	0.039
	2月15日（土）	0.026	0.037	0.024	0.036
	2月16日（日）	0.019	0.029	0.017	0.024
	2月17日（月）	0.019	0.040	0.017	0.029
	2月18日（火）	0.020	0.034	0.018	0.029
有 効 測 定 日 数（日）		7		7	
測 定 時 間（時間）		168		168	
期 間 平 均 値（ppm）		0.024		0.022	
日 平 均 値 の 最 高 値（ppm）		0.035		0.033	
1 時 間 値 の 最 高 値（ppm）		0.049		0.045	
1 時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）		0		0	
1 時間値が0.1ppm以上、0.2ppm以下の時間数（時間）		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm 以上、0.06ppm 以下の 日 数（日）		0		0	
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数（日）		0		0	

表 3 - 5 一酸化窒素測定結果 (令和7年2月12日～2月18日)

(堺基地 令和7年2月調査結果)

測 定 点		No. 1		No. 2	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	2月12日 (水)	0.016	0.038	0.017	0.048
	2月13日 (木)	0.012	0.023	0.007	0.012
	2月14日 (金)	0.018	0.046	0.019	0.047
	2月15日 (土)	0.010	0.021	0.009	0.022
	2月16日 (日)	0.005	0.010	0.005	0.009
	2月17日 (月)	0.011	0.039	0.008	0.019
	2月18日 (火)	0.013	0.036	0.010	0.028
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.012		0.011	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.018		0.019	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.046		0.048	

表 3 - 6 窒素酸化物(NO+NO₂)測定結果 (令和7年2月12日～2月18日)

(堺基地 令和7年2月調査結果)

測 定 点		No. 1			No. 2		
項 目		日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ /NO _x (%)		(ppm)	NO ₂ /NO _x (%)	
日 別 値	2月12日 (水)	0.051	68.4	0.078	0.049	66.4	0.089
	2月13日 (木)	0.033	64.6	0.049	0.024	71.4	0.042
	2月14日 (金)	0.048	63.4	0.087	0.046	58.7	0.086
	2月15日 (土)	0.035	72.4	0.052	0.033	73.3	0.053
	2月16日 (日)	0.024	79.3	0.035	0.022	76.8	0.032
	2月17日 (月)	0.030	64.5	0.079	0.025	66.4	0.048
	2月18日 (火)	0.032	61.1	0.070	0.028	63.9	0.056
有 効 測 定 日 数 (日)		7			7		
測 定 時 間 (時間)		168			168		
期 間 平 均 値 (ppm)		0.036			0.032		
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.051			0.049		
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.087			0.089		
NO ₂ /(NO+NO ₂) (%)		67.1			67.1		

表 3－7 浮遊粒子状物質測定結果 (令和7年2月12日～2月18日)

(堺基地 令和7年2月調査結果)					
測 定 点		No. 1		No. 2	
項 目		日 平 均 値 (mg/m ³)	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)	日 平 均 値 (mg/m ³)	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)
日 別 値	2月12日 (水)	0.017	0.031	0.016	0.040
	2月13日 (木)	0.011	0.040	0.013	0.050
	2月14日 (金)	0.014	0.027	0.013	0.032
	2月15日 (土)	0.013	0.028	0.014	0.032
	2月16日 (日)	0.027	0.049	0.026	0.049
	2月17日 (月)	0.014	0.041	0.014	0.049
	2月18日 (火)	0.006	0.016	0.004	0.021
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (mg/m ³)		0.015		0.014	
日 平 均 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.027		0.026	
1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.049		0.050	
1 時 間 値 が 0.20mg/m ³ を 超 え た 時 間 数 (時間)		0		0	
日 平 均 値 が 0.10mg/m ³ を 超 え た 日 数 (日)		0		0	

表 3－8 風向・風速観測結果 (令和7年2月12日～2月18日)

(堺基地 令和7年2月調査結果)										
測 定 点		No. 1				No. 2				天候
項 目		風速			最多 風向 (16方 位)	風速			最多 風向 (16方 位)	
		平均 風速 (m/s)	最大風速			平均 風速 (m/s)	最大風速			
			風速 (m/s)	風向 (16方位)			風速 (m/s)	風向 (16方位)		
日 別 値	2月12日 (水)	1.0	2.0	ENE	E	0.7	1.8	NNE	NNE	曇時々雨
	2月13日 (木)	1.9	3.6	NE	N	1.7	2.8	NNE	NNE	晴後曇一時雪
	2月14日 (金)	1.2	1.8	NW, WNW	NW	0.9	1.5	WSW, WNW	WNW	晴
	2月15日 (土)	0.9	1.7	NNE	SSE	0.5	1.3	NNE	N	晴後一時曇
	2月16日 (日)	0.8	1.7	WNW	WNW	0.7	1.6	W	W	薄曇一時晴
	2月17日 (月)	1.8	2.8	NW	NW	1.5	3.0	W	W	晴時々曇一時雨
	2月18日 (火)	1.6	2.5	WNW	NW	1.2	2.1	W, WNW	WNW	晴時々曇一時雪
有効測定日数 (日)		7			7	7			7	
測定時間 (時間)		168			168	168			168	
期間平均風速 (m/s)		1.3			—	1.0			—	
期間最大風速 (m/s)		3.6			—	3.0			—	
期間最多風向 (16方位)		—			NW	—			NNE	

注 1) 最多風向は、気象庁の気象観測統計指針に基づいて求めた。

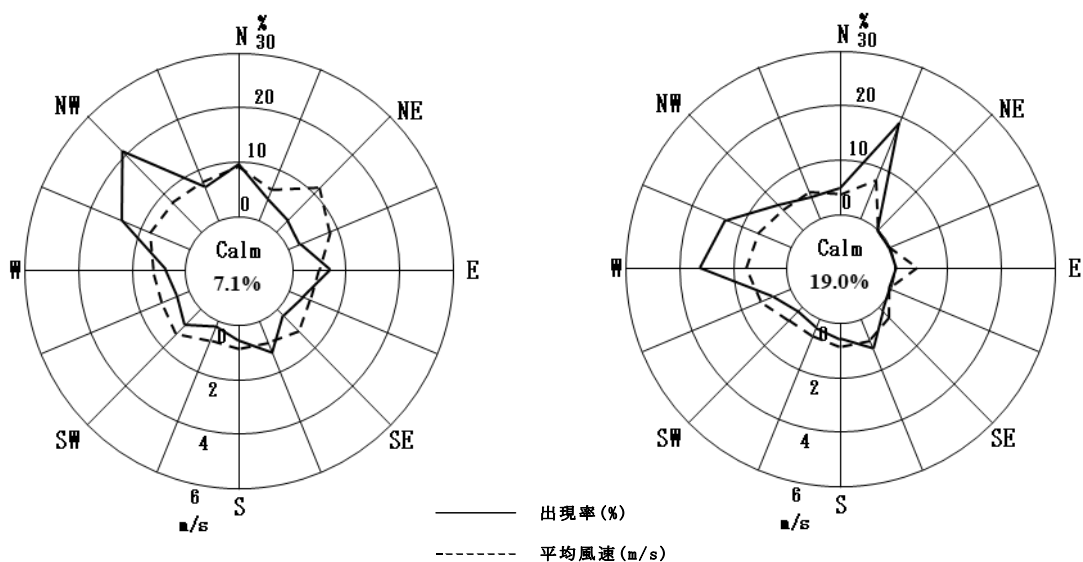
2) 表中の天候は、大阪管区気象台の観測結果 (昼：6:00～18:00) から引用した。

表 3 - 9 風向別出現頻度及び風向別平均風速 (令和7年2月12日～2月18日)

(堺基地 令和7年2月調査結果)

測定点		No.1			No.2		
項目		出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)	出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)
風向	N	16	9.5	1.8	8	4.8	0.7
	NNE	7	4.2	1.2	32	19.0	1.5
	NE	5	3.0	2.3	—	—	—
	ENE	4	2.4	1.7	—	—	—
	E	12	7.1	1.0	1	0.6	0.9
	ESE	5	3.0	0.9	—	—	—
	SE	3	1.8	1.2	2	1.2	0.6
	SSE	11	6.5	0.9	10	6.0	0.9
	S	5	3.0	0.9	5	3.0	0.9
	SSW	2	1.2	0.8	3	1.8	0.7
	SW	7	4.2	1.3	2	1.2	0.7
	WSW	4	2.4	1.1	6	3.6	1.2
	W	6	3.6	1.2	27	16.1	1.5
	WNW	23	13.7	1.6	22	13.1	1.3
	NW	35	20.8	1.5	11	6.5	1.0
	NNW	11	6.5	1.5	7	4.2	1.0
calm		12	7.1	0.2	32	19.0	0.2
total		168	100.0	1.3	168	100.0	1.0

注) calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

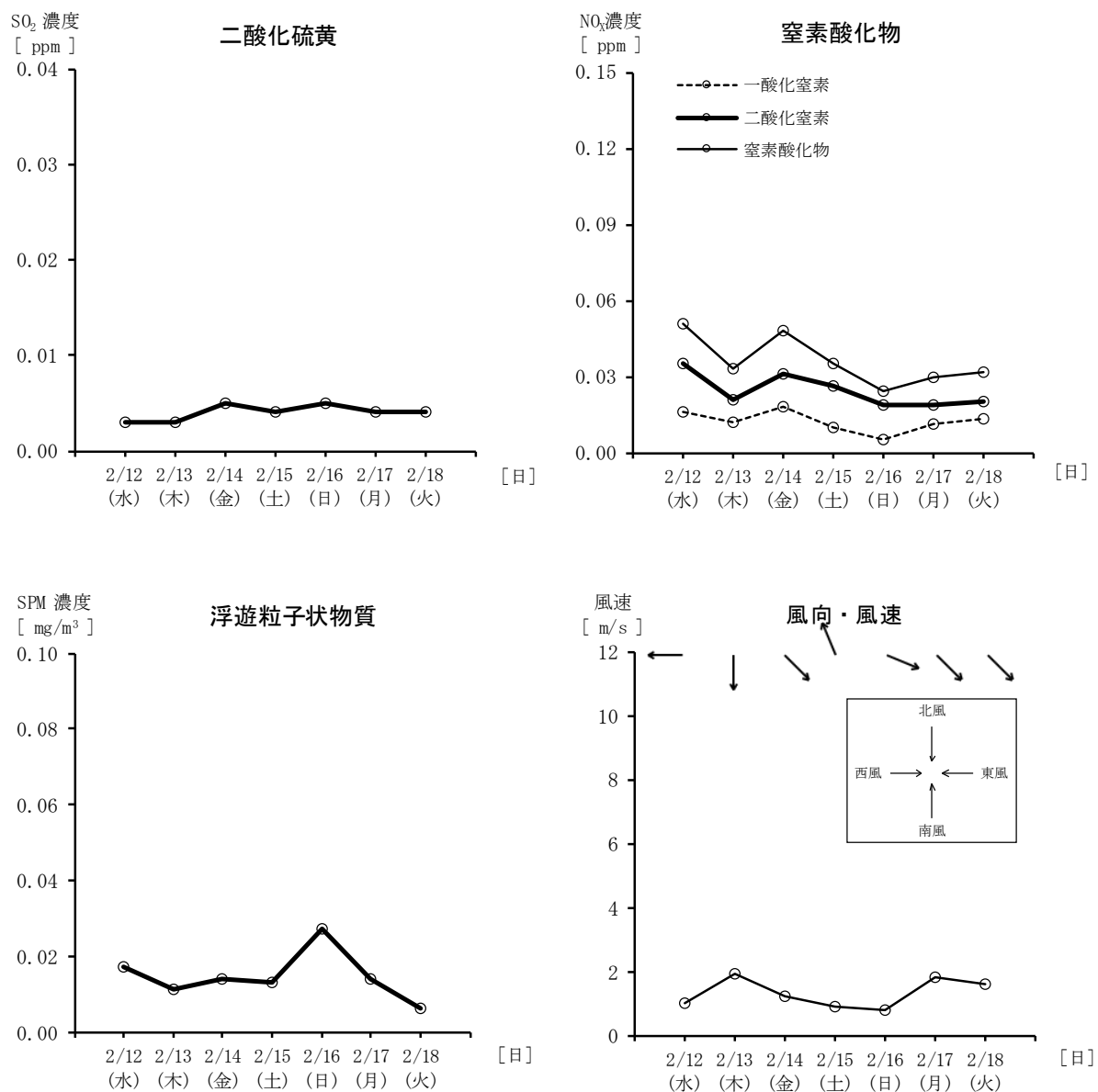


注) calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

測定点 No. 1

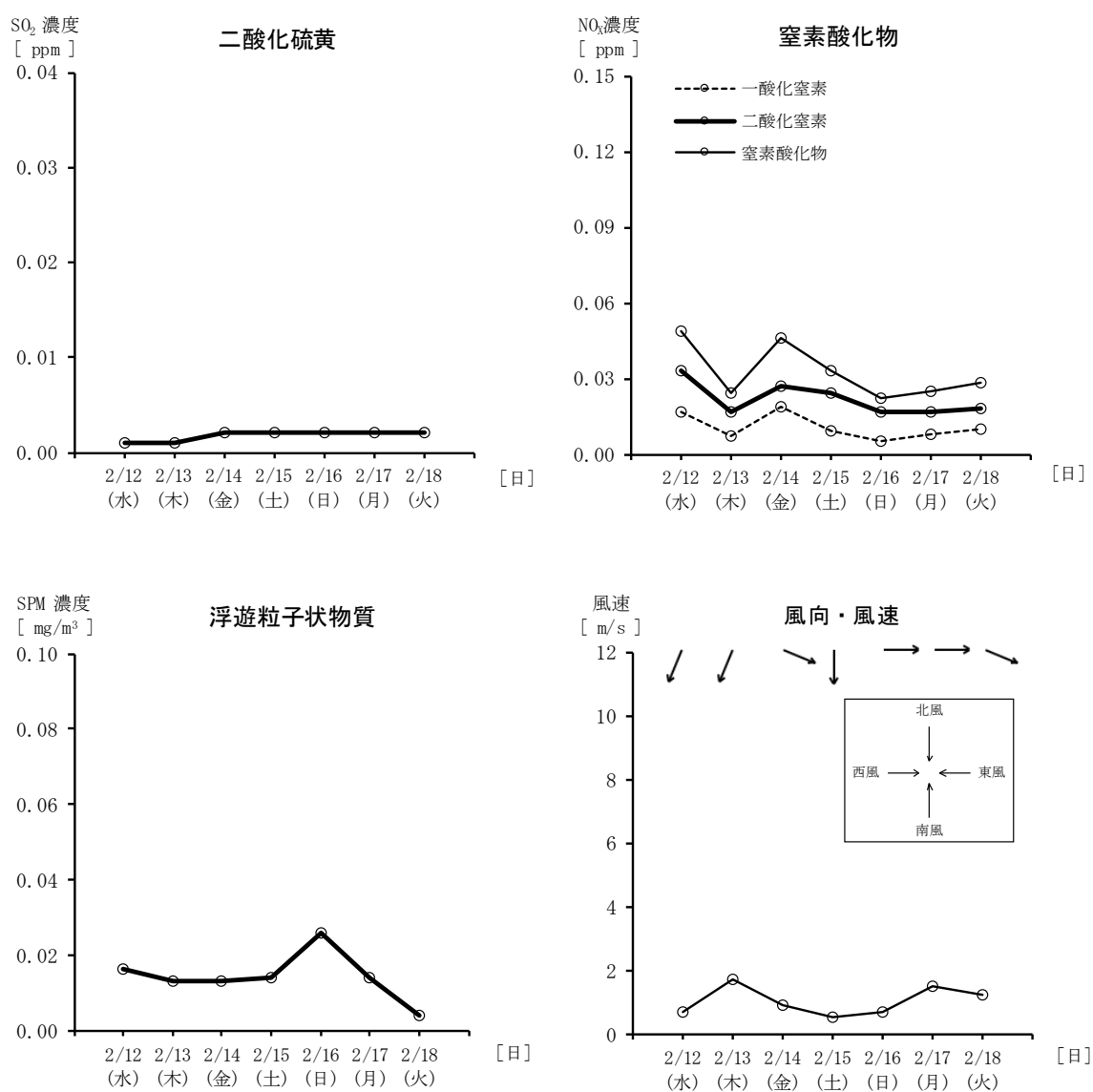
測定点 No. 2

図 3 - 2 風配図と風向別平均風速 (令和7年2月12日～2月18日)



測定点 No. 1

図 3 - 3 大気質・気象日平均値変化図 (令和7年2月12日～2月18日)



測定点 No. 2

図 3 - 4 大気質・気象日平均値変化図 (令和7年2月12日～2月18日)

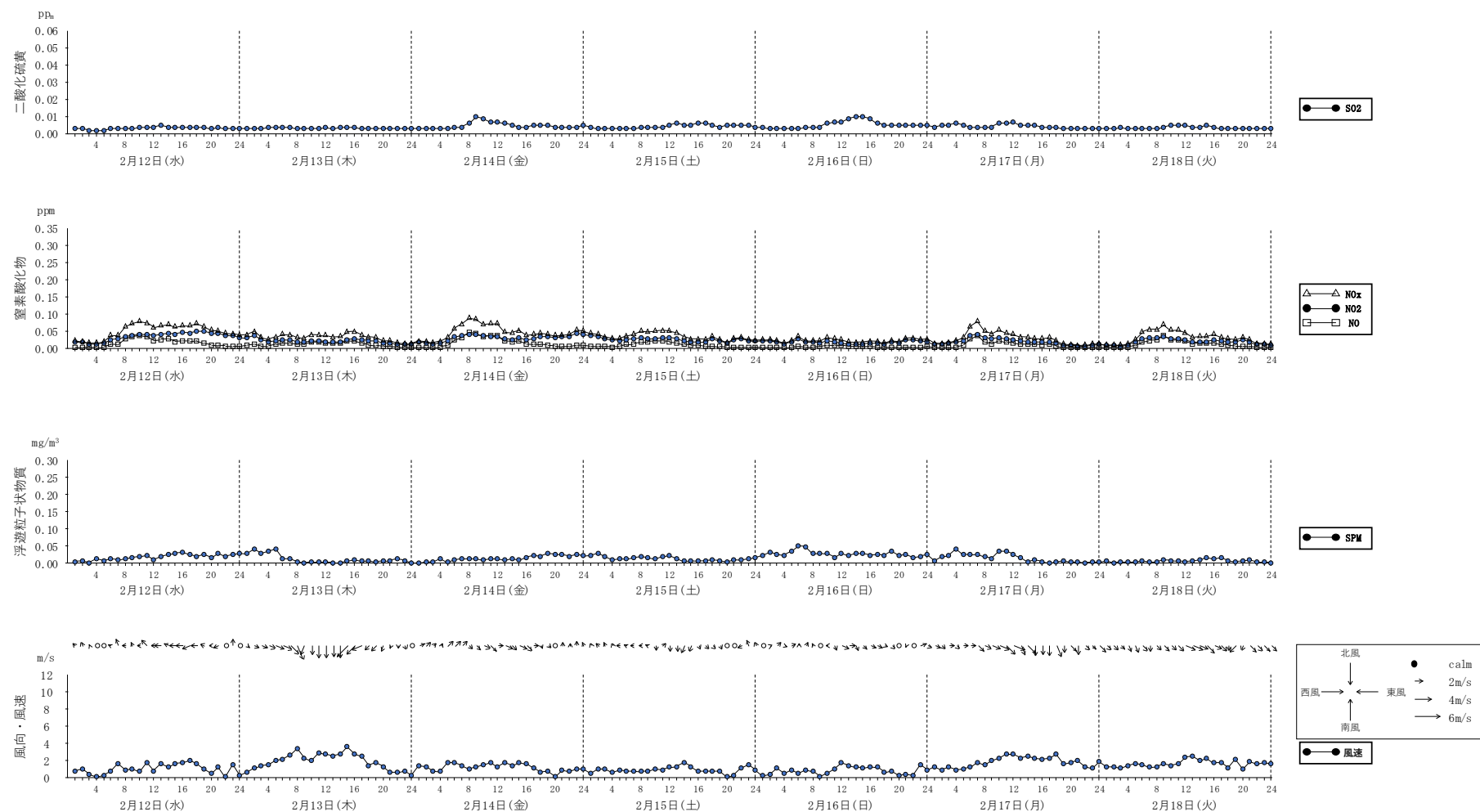


図 3 - 5 大気質・気象時系列変化図 (令和7年2月12日～2月18日) 測定点 No. 1

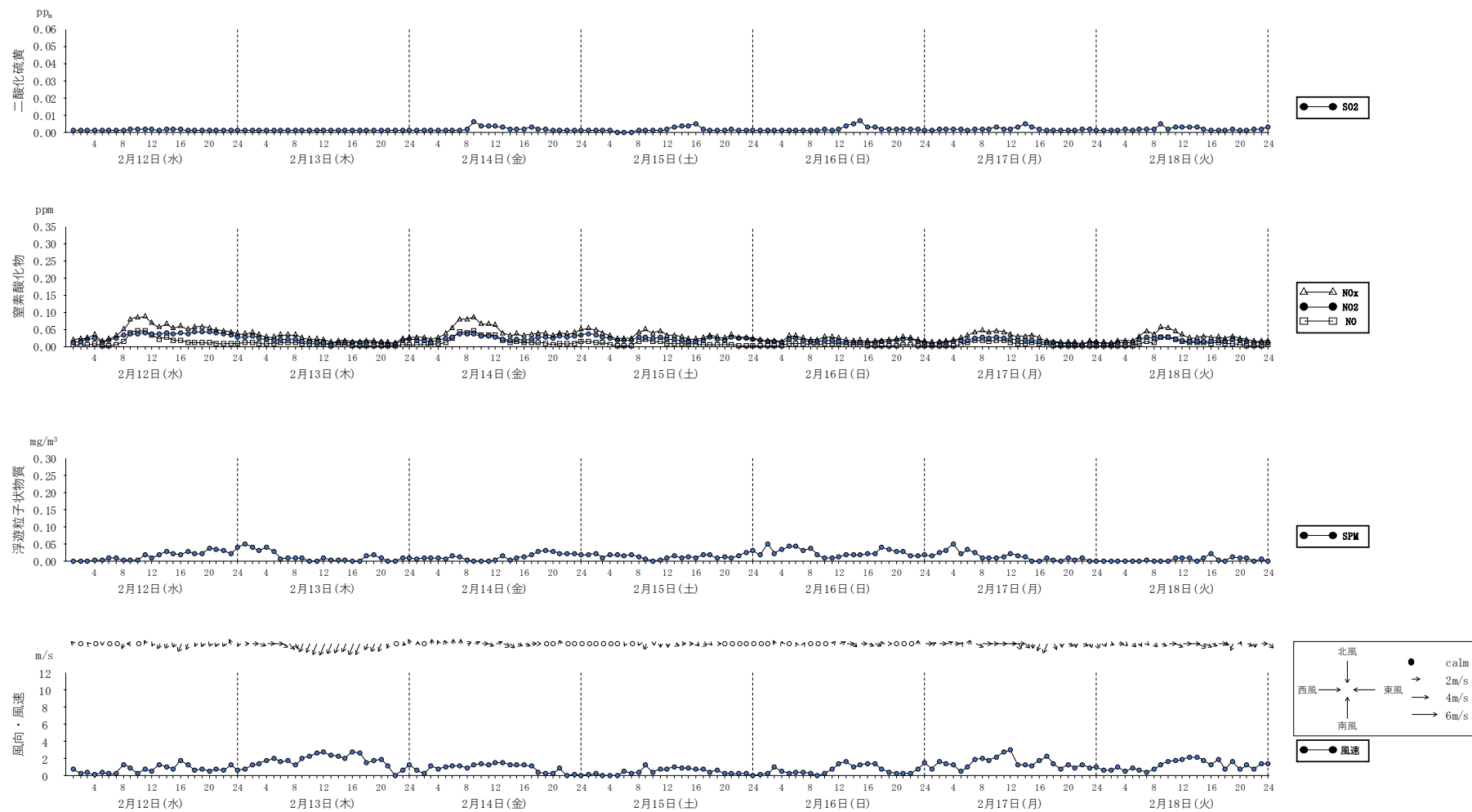


図 3 - 6 大気質・気象時系列変化図 (令和7年2月12日～2月18日) 測定点 No. 2

